3-810-392-**02**(1)

# パーソナル MDファイル

## 取扱説明書

**お買い上げいただきありがとうございます。**

**⚠警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

**PDF-5**

# ⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

## 安全のための注意事項を守る

3~7ページの注意事項をよくお読みください。
71ページの「使用上のご注意」も併せてお読みください。

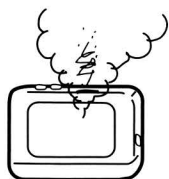
## 定期的に点検する

1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

## 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、本体やACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

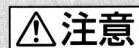
## 万一、異常が起きたら

**変な音・においがしたら、煙が出たら**

❶ **電源を切る**
❷ **ACパワーアダプターをコンセントから抜く**
❸ **お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

### 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**⚠警告**

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

**⚠注意**

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

**注意を促す記号**

**行為を禁止する記号**

**行為を指示する記号**

**下記の注意を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。**

## 運転中は使用しない

自動車の運転をしながら、使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見たりすることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。

## 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

## ACパワーアダプターのコードを傷つけない

ACパワーアダプターのコードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- ACパワーアダプターを加工したり、傷つけたりしない。
- コードに重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- ACパワーアダプターをコンセントから抜くときは、必ず本体を持って抜く。

万一、ACパワーアダプターが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

## 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

## 本機は国内専用です

付属のACパワーアダプターは、日本国内専用です。
交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。

## 雷が鳴りだしたら、ACパワーアダプターに触れない

感電の原因となります。

## 電源は、付属以外のACパワーアダプターなどを使わない

破裂や過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因となります。

## 屋外（車両を含む）で使用しない

本機は屋内専用です。
屋外（自動車内を含む）で使用すると、雨に濡れたり、湿気やほこり、油煙などが多くなったり、直射日光が当たったりして、火災や感電の原因となります。

## ⚠注意

**下記の注意を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。**

### 内部を開けない

感電の原因となることがあります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

### ぬれた手でACパワーアダプターにさわらない

感電の原因となることがあります。

### 移動させるとき、旅行などで長期間ご使用にならないときは、ACパワーアダプターを抜く

ACパワーアダプターを差し込んだまま移動させると、ACパワーアダプターが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
長期間の外出・旅行のときは安全のためACパワーアダプターをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

### お手入れの際、ACパワーアダプターを抜く

ACパワーアダプターを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

## ⚠注意

**下記の注意を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。**

### 安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所の強度もじゅうぶんに確認してください。

### 通電中のACパワーアダプターに長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

### 本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

### 幼児の手の届かない場所に置く

スキャナー部などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。

### 液晶画面を長時間つづけて見つめない

近くのものを長時間見つめることは、眼を疲れさせる原因となります。

まぶしい照明のもとで画面を見つづけることは避け、ときどき遠くのものを見て眼を休ませるようにしましょう。

# ご使用になる前に

この装置は、第二種情報装置(住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報装置)で住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)基準に適合しております。
しかし、本装置をラジオ、テレビジョン受信機等に近接してご使用になると、受信障害の原因となることがあります。
取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。

- 本機使用によって生じた金銭上の障害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負い兼ねます。
  取扱説明書に記載されている以外の方法によってご使用になったことによる不都合につきましても、当社は一切その責任を負い兼ねます。
- 取扱説明書に記載されている正常な使用状態で本製品に故障が生じた場合、当社は本製品の保証書に定められた条件に従って修理を致します。ただし本製品の故障、誤動作、不具合等により、利用の機会を逸したために発生した損害および、文章および画像等のデータが正常に保存・呼び出しができないことによって発生した損害等の、付随的損害の保証については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 権利者の許諾を得ることなく、このソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびこのソフトウェアを賃貸に使用することは、著作件法上禁止されております。
- このソフトウェアに関する諸権利はソニー株式会社に帰属しています。
- 万一、製造上の原因による不良がありましたら、お取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
- このソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- このソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

## 記憶内容保存についてのご注意

**大切なデータは、必ず控えをとっておきましょう。**

本製品は、次のようなときに、ディスクの記憶内容が変化または消失する場合があります。

- 使用を誤ったとき
- 静電気／電気的ノイズの影響を受けたとき
- 故障／修理したとき
- 電源を入／切したとき
- ディスクを紛失したとき
- ディスクに傷が付いたとき

大切なデータは別のディスクにコピーしておくことをおすすめします。詳しくは、「別のディスクに保存する(ディスクコピー)」(62ページ)をご覧ください。特に貴重な内容は、原紙または原紙のコピーなどの控えを保管しておいてください。

**大切なデータを別のディスクにコピーするときは**

少ないページ単位で別のディスクに保存することをおすすめします。別のディスクに保存するページ数が多くなると、保存の作業に手間がかかってしまいます。

# 目次

## はじめに



## 準備



## 基本操作



## 応用操作

## 別売り機器を使う操作



## その他



**この取扱説明書内の 💡 で始まる文章は知っていると便利な情報です。**

# 各部のなまえとはたらき

詳しい説明については(　)内のページをご覧ください。

## 前面

**POWER/BUSYランプ**
電源が入っているとき緑色に点灯します。本機に入れたディスクにデータを書き込んだり、ディスクのデータを読み出したりしているときは、緑色の点灯からオレンジ色の点滅に変わります。(16、17、71ページ)

**液晶画面**
本機は、画面上に表示される記号を直接タッチしながら操作できるGUI(グラフィカル・ユーザー・インターフェース)方式を採用しています。そのほか、スキャンして読み取った書類も、画面上に表示されます。(15ページ)

**ディスク緊急取り出し穴**
イジェクトボタンを押してもディスクを取り出せない場合に、使用します。(76ページ)

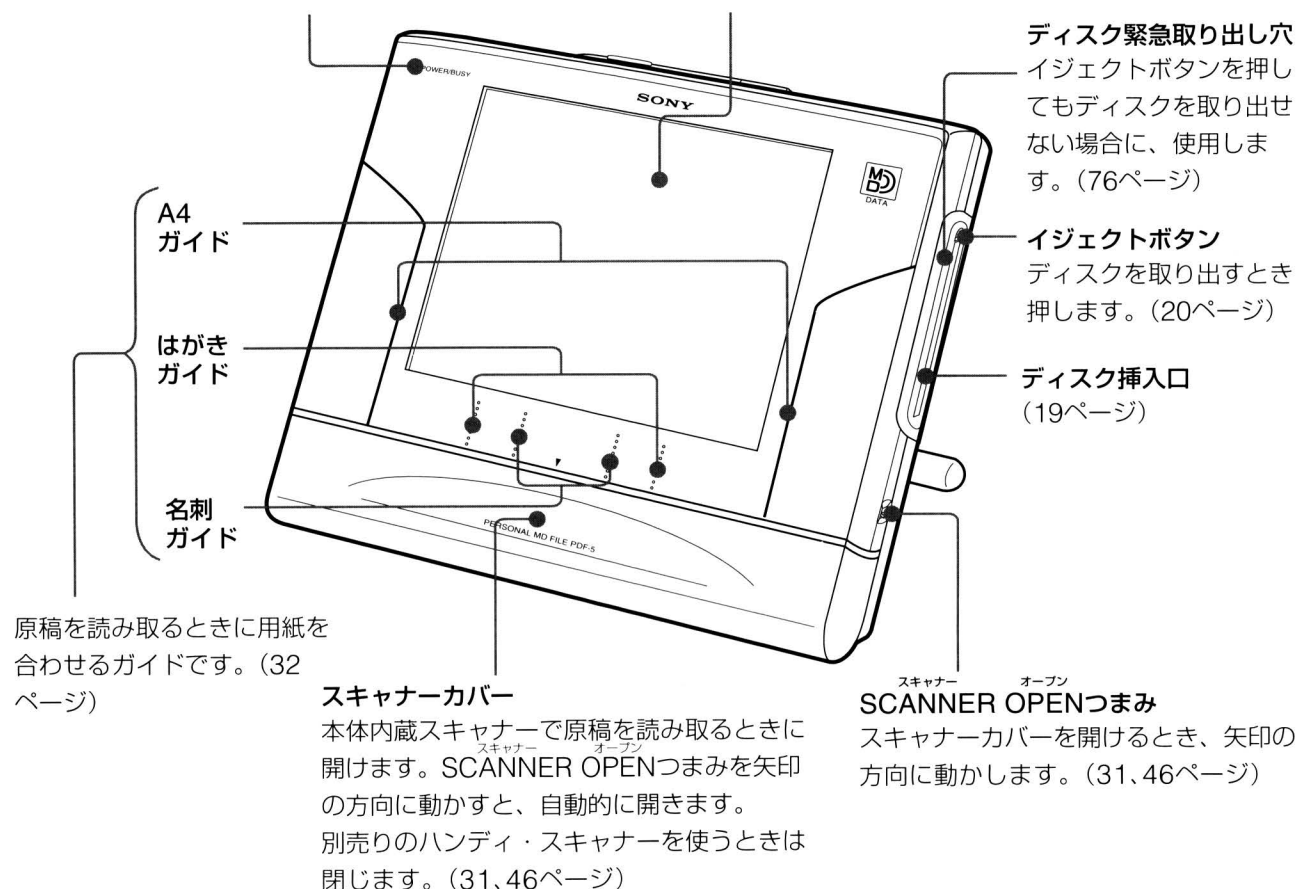
**イジェクトボタン**
ディスクを取り出すとき押します。(20ページ)

**ディスク挿入口**
(19ページ)

**A4ガイド**
**はがきガイド**
**名刺ガイド**
原稿を読み取るときに用紙を合わせるガイドです。(32ページ)

**スキャナーカバー**
本体内蔵スキャナーで原稿を読み取るときに開けます。SCANNER OPENつまみを矢印の方向に動かすと、自動的に開きます。
別売りのハンディ・スキャナーを使うときは閉じます。(31、46ページ)

**SCANNER OPENつまみ**
スキャナーカバーを開けるとき、矢印の方向に動かします。(31、46ページ)

---

### 液晶画面の取り扱いのご注意

- 液晶画面は濡れたもので拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- 液晶画面に物を載せたり、物を落としたりしないでください。また、手や肘をついて体重をかけないでください。
- 冬期の戸外など寒冷な場所から室内へ持ち込むと、液晶画面に結露が生じることがあります。結露が生じたら、水滴をよく拭き取ってからご使用ください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。
  液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。液晶面が室温に暖まるまでお待ちください。

### 後面

**操作ペン収納部**
（13ページ）

**操作ペン**
画面上での操作に使います。（12ページ）

**POWER ON/OFFスイッチ**
電源の入／切を行います。（17ページ）

**スタンドロック解除つまみ**
スタンドを引き出すときに矢印の方向に動かします。（下記参照）

**コントラスト調節ダイヤル**
画面のコントラストを調節します。

**明るさ調節ダイヤル**
画面の明るさを調節します。

**外部プリンター出力端子**
市販のプリンターを接続します。（69ページ）

**リセットスイッチ**
操作ペンでタッチしても画面が変わらないときに、伸ばしたクリップなどでこのスイッチを押してください。

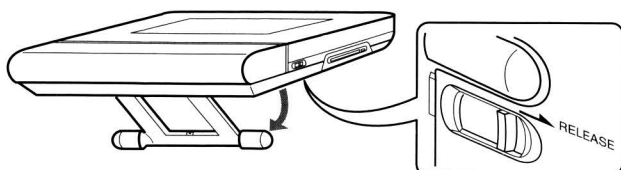
**外部スキャナー入力端子**
別売りの専用ハンディ・スキャナーを接続します。（65ページ）

**スタンド**
角度を8段階に調節できます。（下記参照）

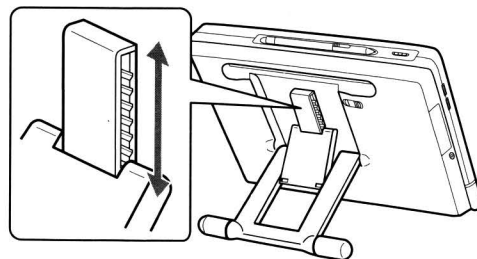
**ACパワーアダプター端子**
付属のACパワーアダプターを接続します。（16ページ）

## スタンドの調節のしかた

### スタンドの引き出しかた

本体を水平に持ってスタンドロック解除つまみを矢印の方向に動かすと、スタンドが出ます。

**ご注意**
スタンドを引き出したり調節したりするとき、指などをはさまないようご注意ください。

### 角度の調節のしかた

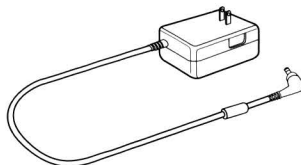
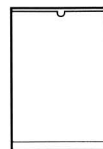
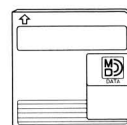
スタンドを引き出してから、中央の板を上下させて好きな位置で固定させます。スタンドの角度は8段階に調節できます。

### スタンドの収納のしかた

中央の板を上まで引き上げ、スタンドをカチっと音がするまでしっかりと収納します。

# →各部のなまえとはたらき

## 付属品一覧

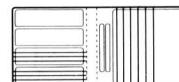
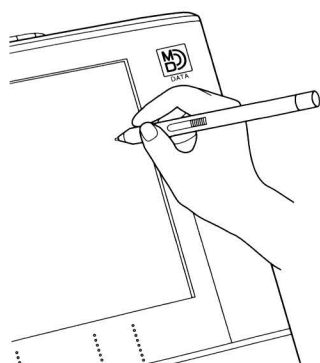
箱から出したら、以下の物が入っているかご確認ください。もし、付属品がそろっていないときは、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

- ACパワーアダプター(1)

- 操作ペン(1)

- 交換用ペン先(5)

- ペン先交換ツール(1)

- 原稿ホルダー(1)

- MDデータディスク(1)

- ディスクラベル(1)

- 取扱説明書(1)
- 保証書(1)
- ソニーご相談窓口のご案内(1)

## 操作ペンの取り扱いかた

本機でのほとんどの操作は、付属の操作ペンで液晶画面上の項目をタッチして行います。

**持ちかた**

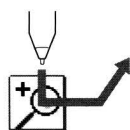
ペンのように持ってお使いください。

操作ペンにはボタンが付いています。

ほとんどの操作は、操作ペンのボタンを押さなくても行えます。操作によっては、ボタンを押しながら画面をタッチすることがあります。詳しくは、各操作説明をご覧ください(37ページ)。

**タッチのしかた**

画面の希望の項目にタッチして、そのまま画面から操作ペンのペン先を離します。

タッチした項目を選ぶのをやめるときは、タッチしたままその項目から操作ペンの先をはずして画面から離します。

**操作ペンの収納について**

操作ペンを使わないときは、本体の収納部に収納しておけます。
収納するときは、操作ペンのボタンを上に向けてください。

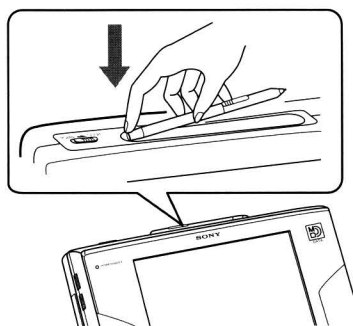
**取り出しかた**

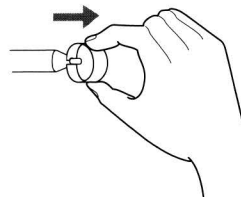
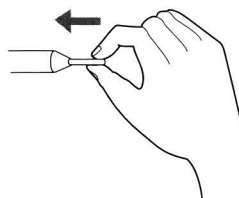
操作ペンの片方の端を押して、もう片方の端を浮かせるようにして取り出します。

**ペン先の交換のしかた**

ペン先が汚れたり、すり減ったりすると、画面に傷が付くことがあります。画面に傷が付くのを防ぐため、ペン先交換ツールを使ってペン先を交換してください。

1 ペン先交換ツールで、ペン先をはさんで操作ペンから引き抜く。

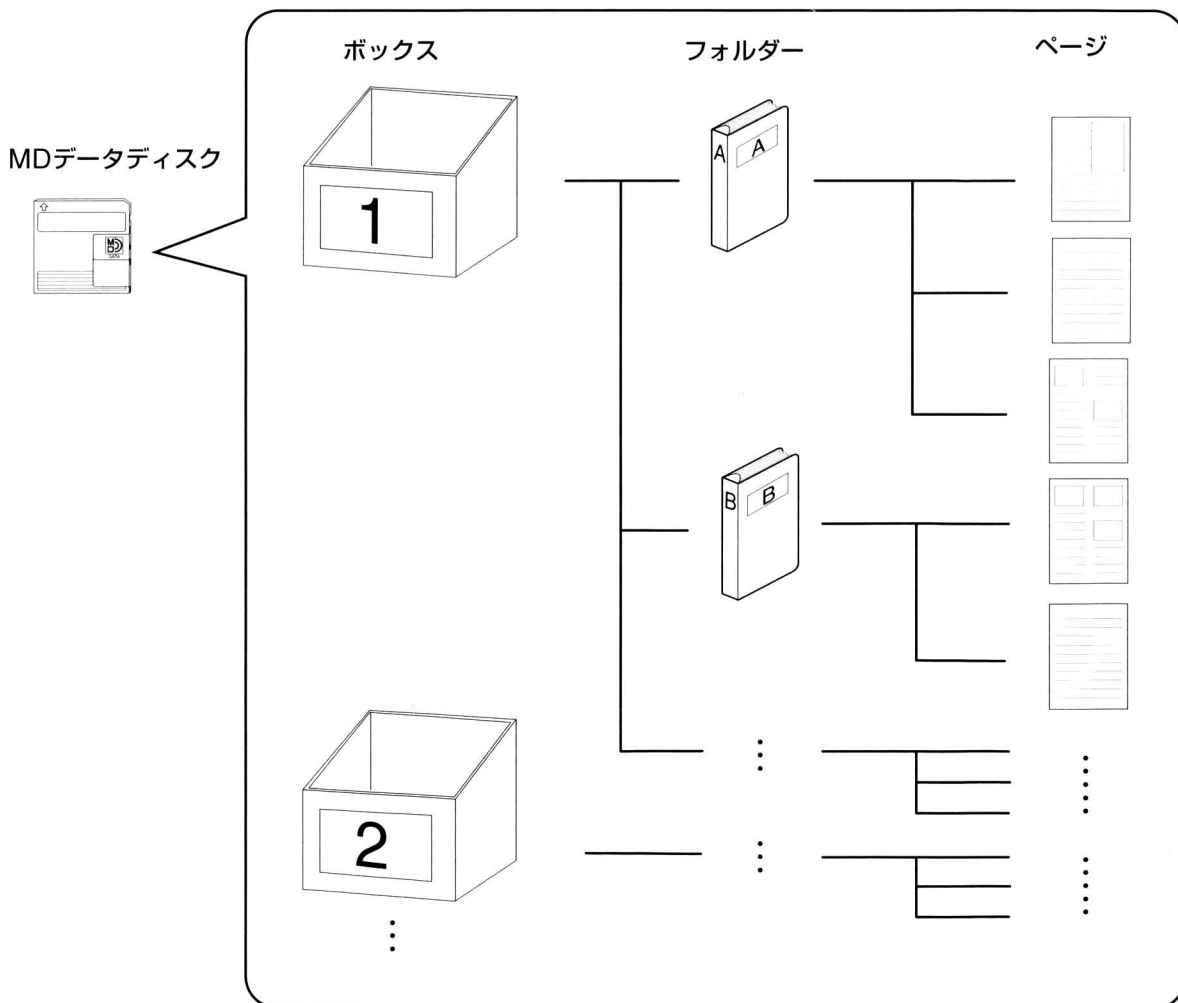
2 新しいペン先を操作ペンに差し込む。

**ご注意**

- 付属の操作ペン以外では操作できません。紛失しないようにご注意ください。
- 操作ペンの先端にゴミが付着したまま操作を行うと、画面に傷が付きますので、操作ペンの先端は常にきれいにして使用してください。
- あまり強く画面を押して入力を行うと、画面に傷が付いたり正しく入力されなくなります。また、力が弱すぎると、手書き文字が正しく認識されなくなります。タイトルなどを記入するときは「鉛筆で紙に字を書く程度」の力で記入してください。

# ファイリングのしくみ

パーソナルMDファイルPDF-5を使うと、職場や家庭など日常で行われている書類のファイリングを、手軽に電子化(デジタル・メモ)できます。デジタル・メモ(電子化)することにより、少ないスペースで効果的なファイリングができます。「書類をフォルダーに入れ、そのフォルダーをボックスに入れて分類する」という日常のファイリングと同じ感覚で行えます。

## 書類を分類する単位について

本機では、書類の単位を次の3段階に分けてMDデータディスクにファイリングします。それぞれを次のように呼ぶことにします。

| 書類の単位 | 呼びかた |
|---|---|
| 1枚ずつの書類 | ページ |
| 複数枚の書類をまとめたもの | フォルダー |
| フォルダーを入れる箱 | ボックス |

1枚のMDデータディスクには、最大90個までボックスを作ることができます。
1個のボックスには、最大100個までフォルダーを作ることができます。
1個のフォルダーには、最大100枚までページを作ることができます。

# 操作画面について

ファイリング操作は、液晶画面を使って簡単に行えます。操作画面には次の4つの種類があります。

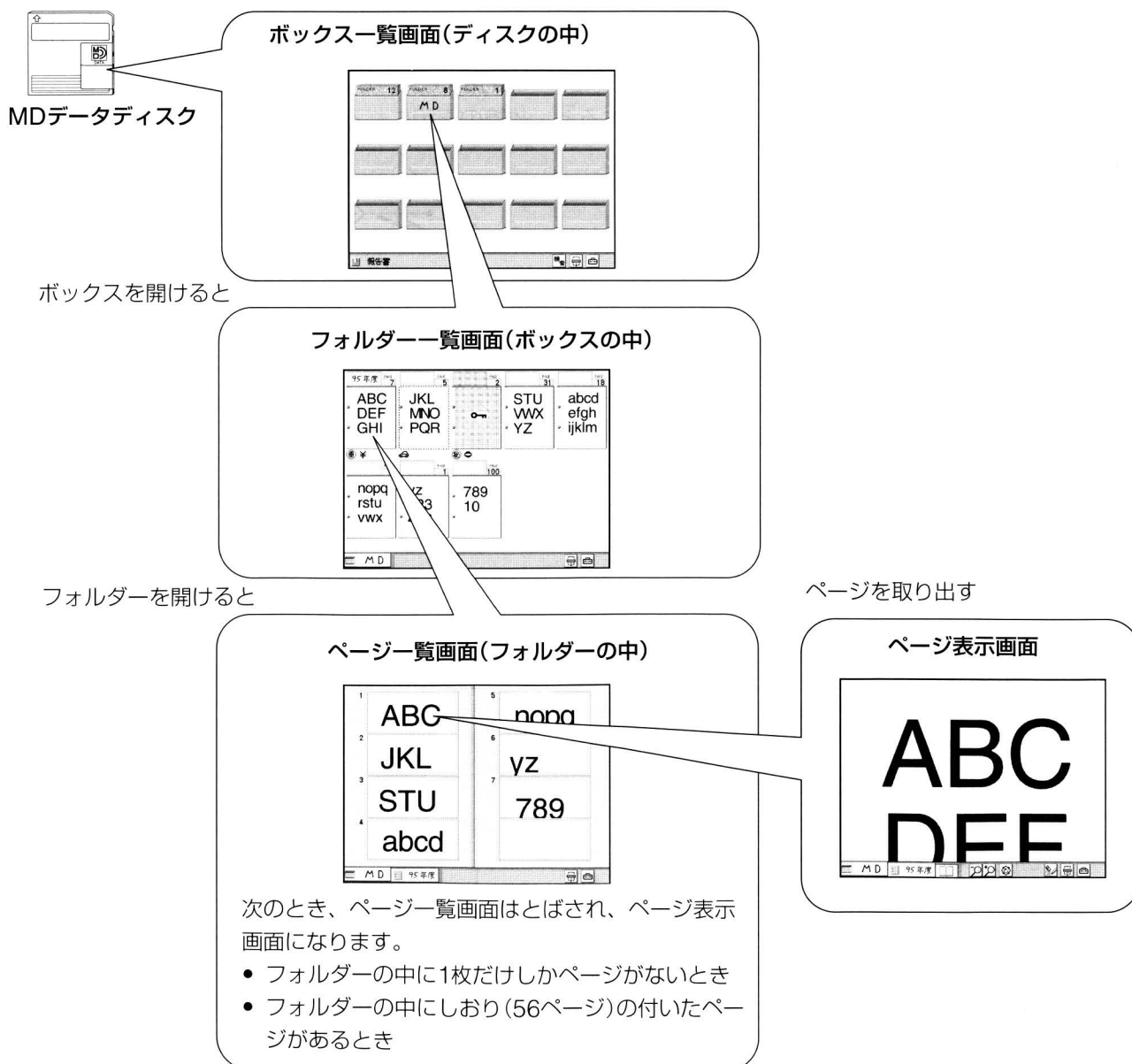
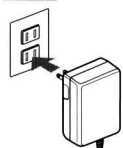
| 操作画面の種類 | 表示するもの |
|---|---|
| ボックス一覧画面 | 1枚のディスクに入っているボックスの一覧 |
| フォルダー一覧画面 | 1つのボックスにまとめられているフォルダーの一覧 |
| ページ一覧画面 | 1つのフォルダーにまとめられているページの一覧 |
| ページ表示画面 | 1枚ずつのページ |

これら4つの操作画面と本機で行うファイリングの関係は、次のようになります。

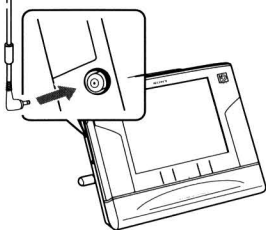
次のとき、ページ一覧画面はとばされ、ページ表示画面になります。

- フォルダーの中に1枚だけしかページがないとき
- フォルダーの中にしおり（56ページ）の付いたページがあるとき

# 電源を準備する

**ご注意**
ACパワーアダプターのプラグは、電源コンセントにしっかりと差し込んでください。

付属のACパワーアダプターを接続します。

**1 付属のACパワーアダプターを電源コンセントに差し込む。**

**2 ACパワーアダプターのプラグを本体のACパワーアダプター端子に差し込む。**

## ACパワーアダプターについて

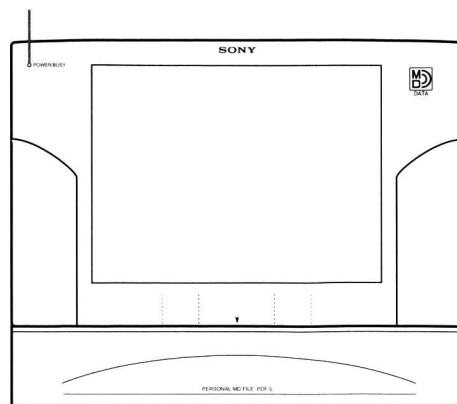
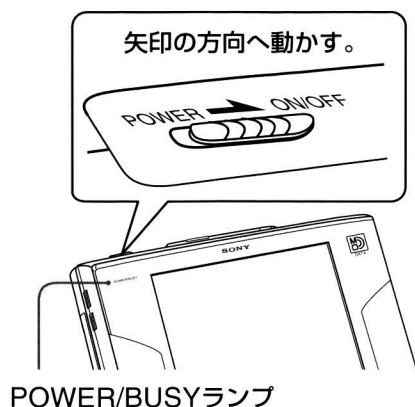
この製品には、付属のACパワーアダプターAC-PDF5(極性統一形プラグ・EIAJ規格)をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。

### 電源についてのご注意

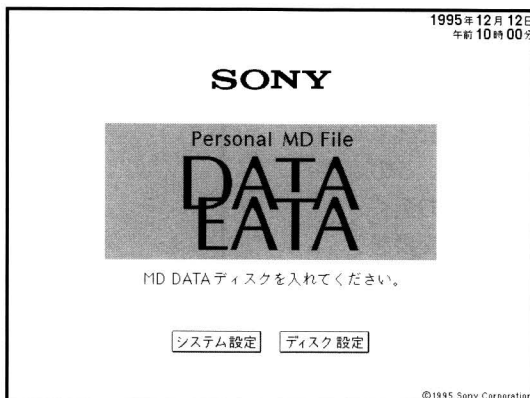
- 本体のPOWER ON/OFFスイッチを使わずに、ACパワーアダプターのプラグを抜いて電源を切らないでください。データを壊すおそれがあります。
- POWER/BUSYランプがオレンジ色に点滅しているときは、ディスクにデータを書き込んだり、ディスクのデータを読み出したりしています。このとき、電源を切ったり、ACパワーアダプターのプラグを抜いたり、本体をゆらしたり、本体に振動を与えたりしないでください。データを壊すおそれがあります。

POWER/BUSYランプ

# 電源を入れる

POWER/BUSYランプ

## POWER ON/OFFスイッチを矢印の方向に動かす。

電源が入ると、「ピン」という音がして、次のような初期画面が表示されます。

**初期画面**

初めて電源を入れたときは、「最初に現在の時刻を設定してください。」というメッセージが表示されます。このときは時刻を合わせてください(次ページ)。

**ご注意**

- 本体のPOWER ON/OFFスイッチを使わずに、ACパワーアダプターのプラグを抜いて電源を切らないでください。データを壊すおそれがあります。
- POWER/BUSYランプがオレンジ色に点滅しているときは、ディスクにデータを書き込んだり、ディスクのデータを読み出したりしています。このとき、電源を切ったり、ACパワーアダプターのプラグを抜いたり、本体をゆらしたり、本体に振動を与えたりしないでください。データを壊すおそれがあります。

### 画面の明るさとコントラストを調節するときは

画面表示を見ながら、コントラスト調節ダイヤル(11ページ)と明るさ調節ダイヤル(11ページ)を回して調節する。
液晶画面の表示濃度は、気温によって変化しますので、気温の低い場所でお使いになるときなど、その都度調節してください。

### 電源を切るときは

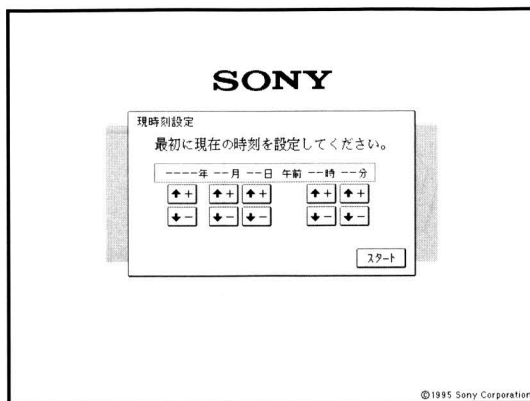
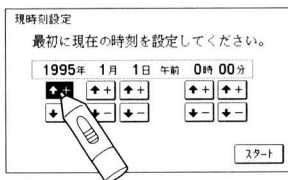
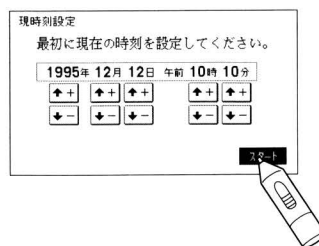
POWER/BUSYランプが緑色に点灯中、POWER ON/OFFスイッチを矢印の方向に動かす。

### 本機の操作について

本機は表示される画面を見ながら、画面上をタッチして操作できます。
実際に表示される画面を見ながら、この取扱説明書をご覧になって操作してください。

# 時刻を合わせる

**ご注意**
本体には、ACパワーアダプターを接続していないときに、時計とシステム設定の内容を記憶しておくための電池を内蔵しています。
電池の寿命は通常のご使用で約9年です。電池が消耗してくると、ACパワーアダプターを取り外した後、ACパワーアダプターを取り付けて電源を入れるたびに、「最初に現在の時刻を設定してください。」というメッセージが表示されます。この場合は、お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口に電池交換を依頼してください(有料)。

初めて電源を入れたときは、「最初に現在の時刻を設定してください。」というメッセージが表示されます。現在時刻を設定しないと使えませんので、設定してください。

## 1 [↑+]、[↓−]をタッチして、希望の年月日および時刻に合わせる。

## 2 [スタート]をタッチする。

### 時刻を合わせ直すときは

1 初期画面で[システム設定]をタッチする。
  システム設定画面が出ます。
2 [現時刻設定]をタッチする。
  現時刻設定画面が出ます。
3 [↑+]、[↓−]をタッチして希望の年月日および時刻に合わせる。
4 [設定]をタッチする。
  システム設定画面に戻ります。

# ディスクを入れる

MDデータディスクを使います。音楽用MDディスクは使えません。
初めて使うMDデータディスクは、ファイリングディスクとして初期化して使用します。



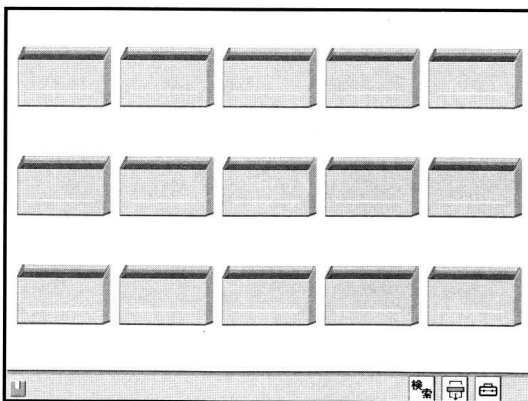
**電源を入れた後、ディスク挿入口にMDデータディスクを入れる。**

本機で使えるディスクかどうかを自動的に判別します。

- 初期化されていないとき

上記のメッセージを確認の上、「初期化：初めて使うディスクを初期化する」(21ページ)を行ってください。

- 別のデータがすでに記録されている(ファイリングディスクでない)とき
  上記のメッセージが表示されます。初期化すると、記録されているデータは全て消えてしまいます。初期化しないときは、[イジェクト]をタッチして、ディスクを取り出してください。

- 初期化されているとき

上記のようなボックス一覧画面が表示されます。

- 音楽用MDディスクを入れたとき
  「ディスクの種類が違うため対応できません。」というメッセージが表示されます。[イジェクト]をタッチしてディスクを取り出してください。

**MDデータとは？**

一般にミニディスク(MD)といわれているものには、大きく分けて音楽を楽しむミニディスク(MiniDisc：Mini Discの表示のあるもの)と、コンピューターデータなどを扱うMD(MD DATA*：MD DATAの表示のあるもの)があります。
本機で使用するディスクは、MDデータの中の「記録用MDデータ」(データの記録／再生用)です。

*「MD DATA」はソニー株式会社の商標です。

**初期化とは？**

MDデータディスクをファイリングディスクとして使えるようにするため、ディスクに管理情報等を書き込んだりすることです。

**ご注意**

すでに別のデータが記録されているMDデータディスクを初期化すると、すでに記録されているデータは全て消えてしまいます。

付属のMDデータディスクはファイリングディスクとして初期化されていないので、「初期化：初めて使うディスクを初期化する」(21ページ)を行ってからお使いください。

## ディスクを取り出す

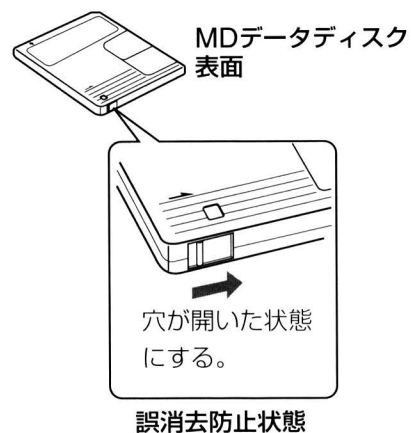
**イジェクトボタンを押す。**
ディスクが出てきます。

### 記録したデータを誤って消したくないときは

MDデータディスクの誤消去防止つまみをずらして、穴が開いた状態にします。現在ディスクに記録されているデータは保護され、新しく記録できなくなります。

ディスクに記録したいときは、誤消去防止つまみを元の位置に戻して穴を閉じてから、お使いください。

**ご注意**
本体のディスク挿入口にディスクを入れた状態で、誤消去防止つまみをずらさないでください。

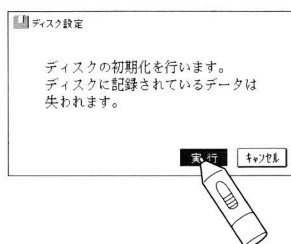
誤消去防止状態

# 初期化：初めて使うディスクを初期化する

付属のMDデータディスクは初期化されていないので、次の操作を行って初期化を行ってからお使いください。

**初期化しないでディスクを取り出すときは**
[イジェクト]をタッチします。

## 1 表示されたメッセージを確認の上、[初期化]をタッチする。

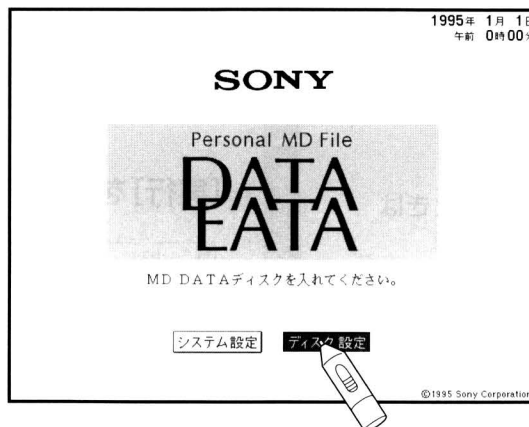
**初期化を実行したくないときは**
[キャンセル]をタッチします。

## 2 [実行]をタッチする。

初期化を実行します。初期化し終わると、ボックス一覧画面(15ページ)が表示されます。

## ディスクを初期化し直す

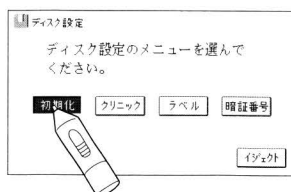
ディスク全体のデータをすべて消して、新たなファイリングディスクとして使うときに、初期化し直します。
電源を入れた後の初期画面(17ページ)でディスクが入っていない状態から操作します。

**1 初期画面を表示する。**

- 電源が入っていないときは、POWER ON/OFFスイッチを矢印の方向に動かして電源を入れる。
- ディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押してディスクを取り出す。

**2 [ディスク設定]をタッチする。**

ディスク設定メニューが表示されます。

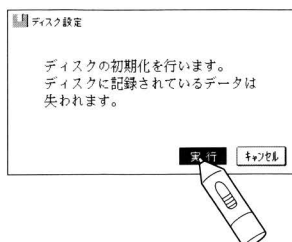
**3 表示されたメッセージを確認の上、MDデータディスクを入れる。**

**4 [初期化]をタッチする。**

**初期化しないときは**
[キャンセル]をタッチします。

**初期化しないでディスクを取り出すときは**
[イジェクト]をタッチします。

**初期化を実行したくないときは**
[キャンセル]をタッチします。



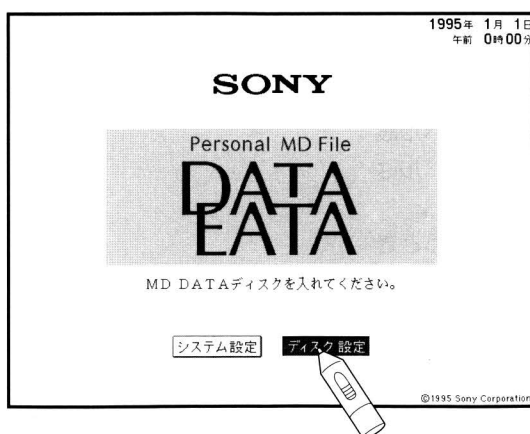
**5** **[実行]をタッチする。**

初期化を実行します。初期化し終わると、ディスク設定メニューに戻ります。

## ディスクに名前を付ける(ラベル設定)

ディスクに名前を付けておくと、ディスクの管理に役立ちます。
初期画面(17ページ)で操作を始めます。

**1** **初期画面を表示する。**

- 電源が入っていないときは、POWER ON/OFFスイッチを矢印の方向に動かして電源を入れる。
- ディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押してディスクを取り出す。

**2** **[ディスク設定]をタッチする。**

ディスク設定メニューが表示されます。

次のページへつづく →

**ラベル設定をしないときは**
[キャンセル]をタッチします。

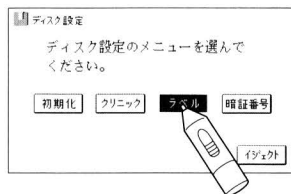
**3** **表示されたメッセージを確認の上、MDデータディスクを入れる。**

**4** **[ラベル]をタッチする。**

ラベル設定の画面が表示されます。

**枠内を黒く塗りつぶすときは**
消しゴムモードのとき、[塗りつぶし]をタッチします。
黒塗枠に白い文字を記入できます。

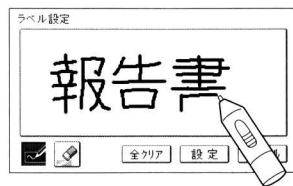
**枠内を再び空白にするときは**
ペン入力モードのとき、[全クリア]をタッチします。
新しくラベルを記入できます。

**ラベル設定を元の状態に戻してやめるときは**
[キャンセル]をタッチします。

**ご注意**
すでにラベルの付いているディスクでラベル設定をし直すと、ラベル設定の画面の枠内には、前のラベルは表示されません。
ラベル設定をし直すのをやめるときは、[キャンセル]をタッチすると前のラベルのままになります。

**5** **枠内に、操作ペンで希望のディスク名(ラベル)を記入する。**

またはをタッチしてモードを選んでから、枠内に記入します。

**ペン入力モード：**枠内を操作ペンでなぞると、黒で書くことができます。

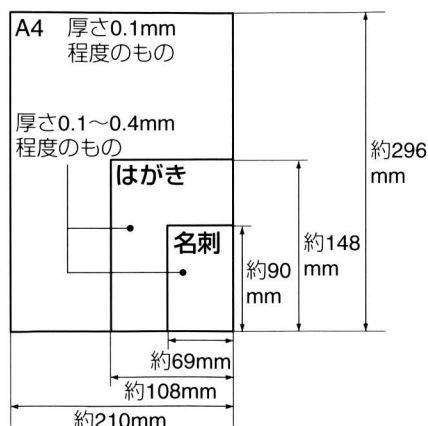
**消しゴムモード：**枠内の黒い部分を操作ペンでなぞると、白く消すことができます。

ラベルには、文字だけでなく簡単なイラストなども記入できます。

**例)**

## 6 [設定]をタッチする。

手順5で記入した内容をディスクラベルとして登録します。
ディスク設定メニューの表示に戻ります。

準備

# 保存する原稿についてのご注意

## 保存できる原稿のサイズについて

保存できる原稿のサイズは、最大でA4サイズ(タテ約296ミリ、ヨコ約210ミリ)までです。
本体に内蔵のスキャナーで読み取ることができる原稿のサイズは、次の通りです。
最大：A4サイズ(タテ約296ミリ、ヨコ約210ミリ)
最小：名刺サイズ(タテ約90ミリ、ヨコ約69ミリ)
上記の名刺サイズ以下のもの(ただし、厚さは0.1ミリ以下の原稿のみ可能)は、付属の原稿ホルダー(28ページ)を使って、読み取りを行ってください。

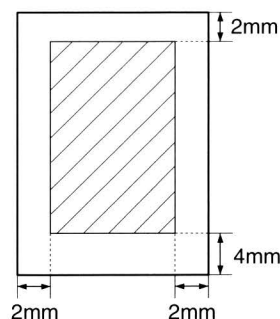
**ご注意**
原稿の紙の材質によって、読み取ることができる原稿の厚さが多少異なることがあります。

また、本体に内蔵のスキャナーで読み取ることができる原稿の厚さは、次のように原稿のサイズによって異なります。

- A4サイズ(タテ約296ミリ、ヨコ約210ミリ)のとき
  0.1ミリ程度の厚さ
- はがきサイズ(タテ約148ミリ、ヨコ約108ミリ)のとき
  0.1〜0.4ミリの厚さ
- 名刺サイズ(タテ約90ミリ、ヨコ約69ミリ)のとき
  0.1〜0.4ミリの厚さ

0.1ミリより薄い原稿は、付属の原稿ホルダー(28ページ)を使って、読み取りを行ってください。

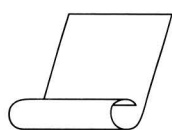
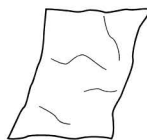
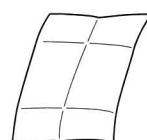
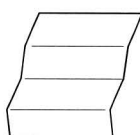
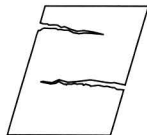
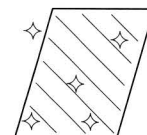
**ご注意**
読み取る原稿の厚さによって、読み取り位置が多少上下にずれることがあります。

全ての原稿サイズで、確実に読み取ることができるのは、下図の斜線部です。

**ご注意**
- 読み取り原稿がカラーのときは、読み取りにくい色があります。1度コピーをとった原稿で読み取りを行ってください。
- 読み取り原稿が写真(カラー、白黒に関わらず)のときは、同一色または濃淡差が少ない部分は思い通りに読み取れないことがあります。
- 原稿ホルダーを使っても、読み取りができないことがあります。

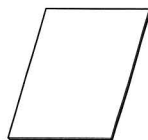
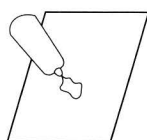
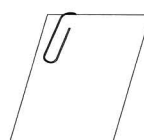
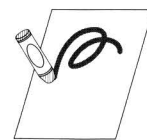
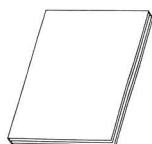
# 本体に内蔵のスキャナーで読み取れない原稿について

次のような原稿は、付属の原稿ホルダー(28ページ)を使うか、複写機でコピーをとって、読み取りを行ってください。

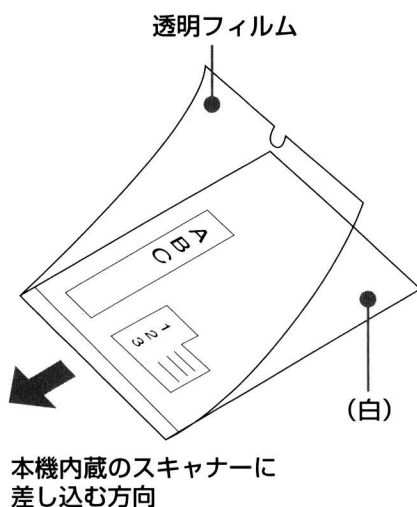
## 原稿ホルダーを使えば読み取りが可能な原稿

厚さが0.1ミリ以下の場合で次に当てはまる原稿は、原稿ホルダーを使うと、本体に内蔵のスキャナーで読み取りが可能になります。

その他特殊な紙質の原稿

## 読み取りが不可能な原稿

複写機で原稿のコピーをとると、本体に内蔵のスキャナーで読み取りが可能になります。

2枚以上の紙が綴じてある原稿

上記の「原稿ホルダーを使えば読み取りが可能な原稿」に当てはまるもので、厚さが0.1ミリより厚い原稿

# →保存する原稿についてのご注意

## 原稿ホルダー(付属)の使いかた

**1** 読み取る面が透明フィルム側に向くように、原稿を原稿ホルダーにはさむ。

**2** 原稿ホルダーの透明フィルム側が手前になるように、本体に内蔵のスキャナーに差し込む。

**付属の原稿ホルダーは消耗品です。**

原稿ホルダーは、ある期間使っているうちに、汚れたり折れたりして、きれいに読み取りができなくなる場合があります。原稿ホルダーが古くなったときは、お近くのソニーサービス窓口にお問い合わせください。有料で販売させていただきます。

# 読み取りが禁止されているもの

スキャナーを使って、何を読み取ってもいいとは限りません。単に読み取った原稿のデータを所有するだけでも、法律によって罰せられるものがありますのでご注意ください。



## 1.法律で禁止されているもの

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券
  (たとえ見本の印が押してあっても、スキャナーで読み取ることはできません。)
- 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類
- 未使用の郵便切手、官製はがき類
  (スキャナーで読み取るときは政府の模造許可が必要です。)
- 政府発行の印紙、証紙類

(関係法律)

- 通貨オヨビ証券模造取締法
- 外国ニオイテ流通スル貨幣、紙幣、銀行券、証券、偽造変造及ビ模造ニ関スル法律
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙等模造等取締法
- 紙幣類似証券取締法

## 2.注意を要するもの

- 民間発行の有価証券(株券、手形、小切手等)、定期券、回数券等は、事業会社が業務用にスキャナーで読み取る以外は、政府の指導によって注意を呼びかけられています。
- 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行券、食券等の切符類も勝手にスキャナーで読み取らない方がよいと考えられます。

## 3.著作権の目的となっているもの

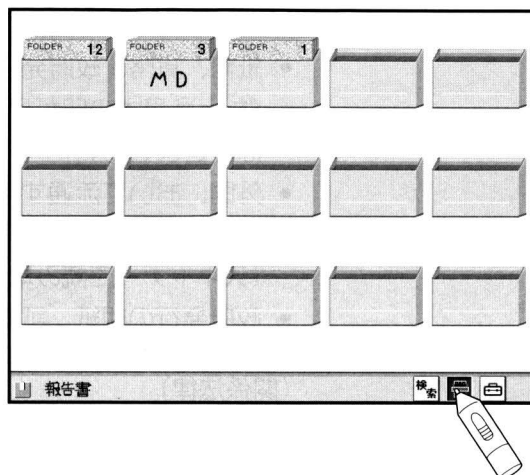
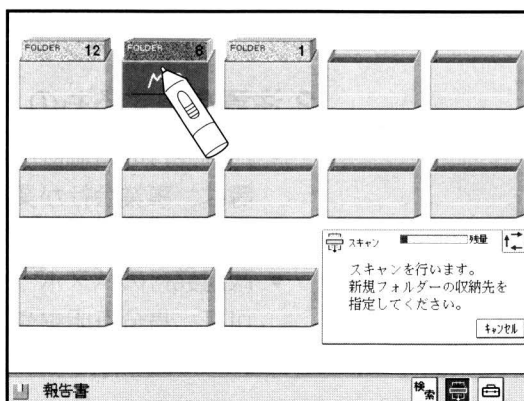
- 書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真などの著作物は、個人的または、家庭内その他、これに準ずる限られた範囲内で使用するためにスキャナーで読み取る以外は禁じられています。

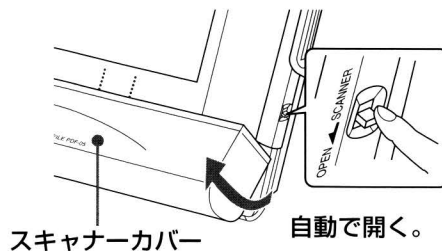
# 書類を保存する(スキャン)

💡
フォルダー一覧やページ一覧、ページ表示画面でも、書類を保存できます。詳しくは、「スキャン：フォルダーにページを追加保存する」(46ページ)をご覧ください。

**ご注意**
- 本体内蔵スキャナーで読み取りができる原稿について、詳しくは「保存する原稿についてのご注意」(26ページ)をご覧ください。
- 読み取り原稿がカラーのときは、読み取りにくい色があります。1度コピーをとった原稿で読み取りを行ってください。
- 読み取り原稿が写真(カラー、白黒に関わらず)のときは、同一色または濃淡差が少ない部分は思い通りに読み取れないことがあります。
- 本体に内蔵のスキャナーの原稿が出てくる部分の透明なペーパーおさえには、手で触れないようにしてください。デリケートな部分なので、手で触れると破損する恐れがあります。

本体内蔵のスキャナーで保存したい書類を1ページずつ読み取り、まとめて新規フォルダーとして保存します。
ボックス一覧画面で操作します。

**1** **ボックス一覧画面で、[スキャン]をタッチする。**

**2** **これから保存する書類の保存先のボックスをタッチする。**

選んだボックスの最後に、新規フォルダーを作り、その中に保存されます。

## 3 SCANNER OPENつまみを矢印の方向に動かして、スキャナーカバーを開ける。

スキャンモード選択メニューが表示されます。

## 4 希望のスキャンモード(原稿の種類、読み取り濃度、原稿サイズ、原稿の向き)に設定する。

各項目の希望を設定します。

①原稿の種類を選ぶ。

[文字]:文字の原稿を読み取るとき

[写真]:写真や絵の原稿を読み取るとき

②読み取り濃度を選ぶ。

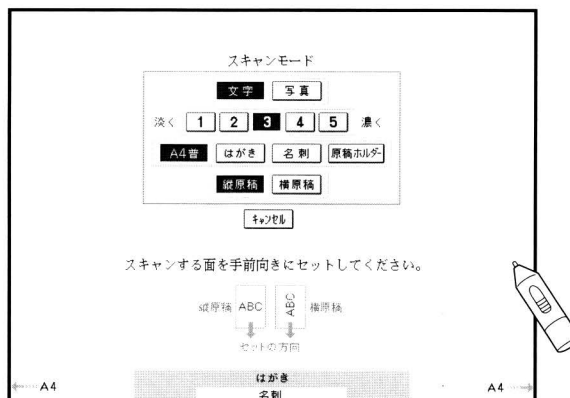
1~5:数が大きい方が濃くなります。

③原稿サイズを選ぶ。

[A4普]:A4サイズの原稿のとき

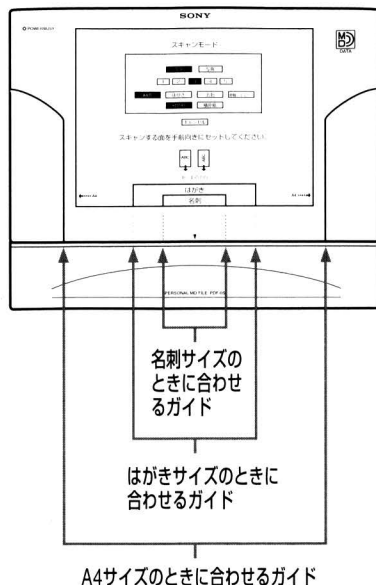
[はがき]:はがきサイズの原稿のとき

[名刺]:名刺サイズの原稿のとき

[原稿ホルダー]:上記以外の変形サイズの原稿などを原稿ホルダーに入れて読み取るときは、「原稿ホルダー(付属)の使いかた」(28ページ)をご覧ください。

**ご注意**

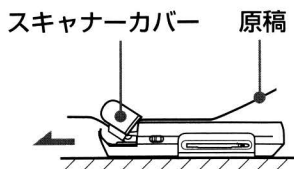
- 読み取り原稿が新聞の写真などのときは、スキャンモードを設定するときに、[写真]をタッチして読み取りを行うと、読み取った原稿にムラができることがあります。このようなときは、[文字]をタッチして読み取りを行ってください。

次のページへつづく →

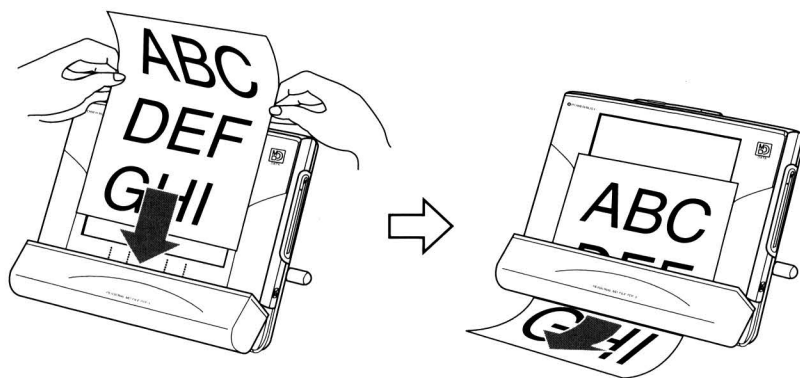
# →書類を保存する(スキャン)

**ご注意**

- 本機が読み取りを失敗すると「ピピピッ」という音が鳴ります。もう1度原稿を差し込んで、読み取りをやり直してください。
- 本機のスキャナーカバーの手前には、原稿が出てくるのを妨げるものは置かないでください。
- 読み取り中、原稿を無理に引き抜こうとしないでください。
- 原稿は、ななめに差し込まないでください。原稿の左右が破れたり、紙づまりをおこす原因となります。必ず両手で原稿を持ち、ガイドに合わせて差し込んでください。

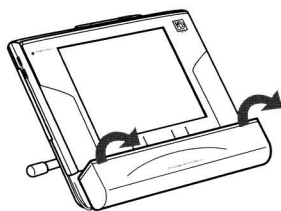
**厚い紙の原稿を読み取るときは**

紙が出てくるときにつかえることがないよう、本機を次の図のように倒してから、原稿を差し込んでください。

横から見た図

④原稿の向きを選ぶ。
[縦原稿]：縦に長い原稿のとき
[横原稿]：横に長い原稿のとき

**5 読み取る面を手前にし、両手で原稿を持って、ガイドに合わせて差し込む。**

「ピッ」という音がして、読み取りを始めます。
読み取りが終わると、読み取った原稿と読み取ったときのスキャンモードが表示されます。

**読み取りを失敗して原稿が抜けなくなったときは**

下の図のように、スキャナーカバーの上側を手前に引き、スキャナーカバーをもう1段階開け、原稿を下から引き抜いてください。原稿を引き抜いたら、スキャナーカバーをもとに戻してください。

**誤って原稿を斜めに入れてしまったときは**

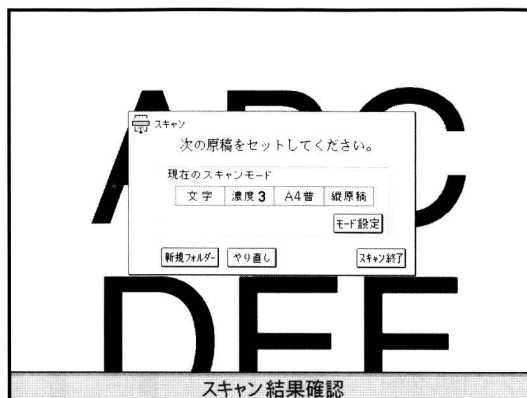
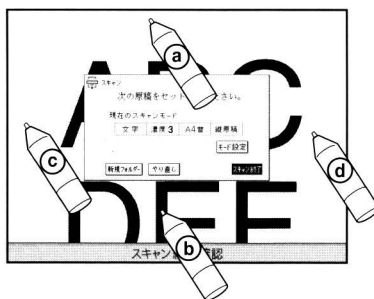
読み取りの途中で、上の図のようにスキャナーカバーの上側を手前に引いて、もう1段階開けます。紙の動きが止まるので、原稿を下から引き抜いてください。原稿の破損を最小限に抑えることができます。

**スキャンモードを変更したいときは**

[モード設定]をタッチして、スキャンモードを設定し直します。手順4の操作から繰り返します。

**次の原稿を別のフォルダーに保存したいときは**

[新規フォルダー]をタッチすると、次に読み取りを行う原稿は新しい別のフォルダーに保存されます。手順2の操作から繰り返します。

## 6 原稿が正しく読み取れていることを確認する。

読み取った原稿の画面に表示されていない部分を見たいときは、画面の見たい方向をタッチすると、タッチした方向に表示が移動します。

ⓐ 上方向を見たいとき：上部
ⓑ 下方向を見たいとき：下部
ⓒ 左方向を見たいとき：左部
ⓓ 右方向を見たいとき：右部
押し続けると、連続で移動します。

読み取りをやり直したいときは、[やり直し]をタッチすると、いま読み取った(画面に表示されている)原稿は取り消されます。
もう1度原稿を差し込んで、読み取りをやり直してください。

## 7 次の原稿があるときは、今読み取った原稿を取り除いてから、次の原稿を差し込む。

手順5〜7を繰り返して、続けて原稿の読み取りを行います。

次のページへつづく →

# →書類を保存する(スキャン)

**既存のフォルダーの書類を追加保存できます。**

「スキャン：フォルダーにページを追加保存する」(46ページ)をご覧ください。

**書類を保存し直すことができます。**

1度保存した書類は合成、移動、複製、共有、スキャンによるページの追加保存、削除、タイトルの設定をして保存し直すことができます。詳しくは、「書類を保存し直す」(41～48ページ)をご覧ください。

**8 全ての原稿の読み取りを終えたら、[スキャン終了]をタッチする。**

これで、今読み取りを行った原稿の全ての管理情報が記録されます。

全ての管理情報が記録されると、ボックス一覧画面に戻ります。

**ご注意**

- スキャナーカバーに指をはさまないようにご注意ください。
- スキャナーカバーの片方の端を押すと、閉まらないことがあります。

## スキャナーカバーを閉じるとき

スキャナーカバーの両端を押して閉じる。

両端を押す

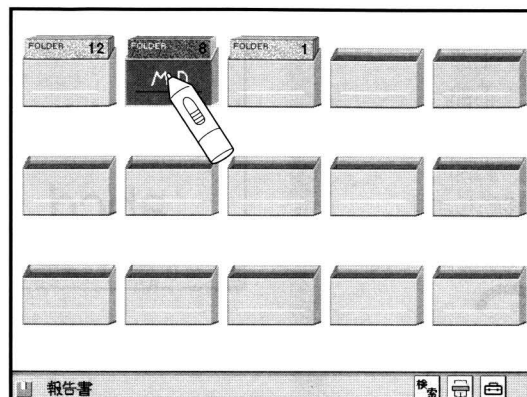
# 書類を見る

保存した書類を液晶画面に表示して見ることができます。

**1** **ボックス一覧画面で、開きたいボックスをタッチする。**

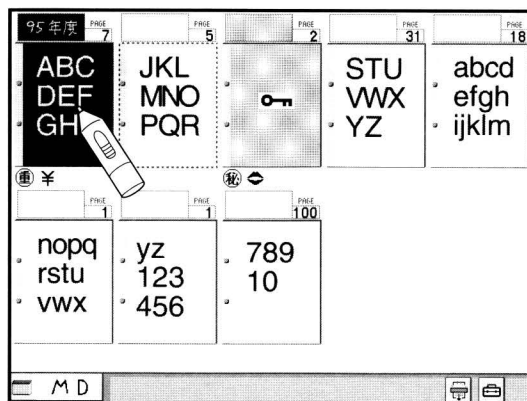
**ボックス一覧画面**

フォルダー一覧画面が表示されます。

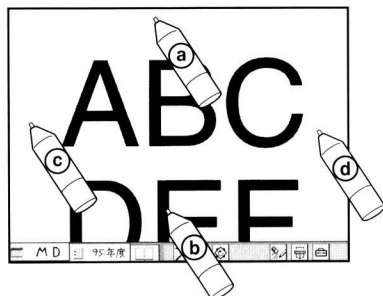
**2** **フォルダー一覧画面で、開きたいフォルダーをタッチする。**

**フォルダー一覧画面**

ページ一覧画面が表示されます。

**ご注意**

- 書類が1ページしか入っていないフォルダーやしおり(56ページ)のついたフォルダーを選んだときは、最初からページ表示画面になります。
- 「O━┳」の付いているフォルダーは、ロックが働いています。詳しくは、「他人に見られないようにする(ロック)」(57ページ)をご覧ください。

次のページへつづく →

**ページ表示で隠れている部分を表示したいときは**

ページ表示画面の見たい方向をタッチします。
タッチした方向にページ表示が移動します。
ⓐ上方向を見たいとき：上部
ⓑ下方向を見たいとき：下部
ⓒ左方向を見たいとき：左部
ⓓ右方向を見たいとき：右部
押し続けると、連続で移動します。

**ページを縮小/拡大して表示したいときは**

 縮小したいときにタッチします。

 拡大したいときにタッチします。

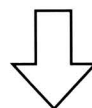
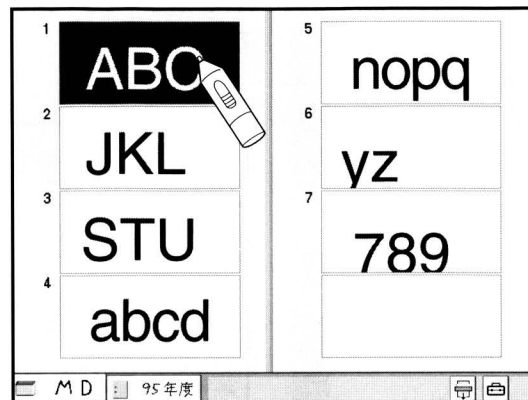
6段階の間で縮小／拡大表示できます。

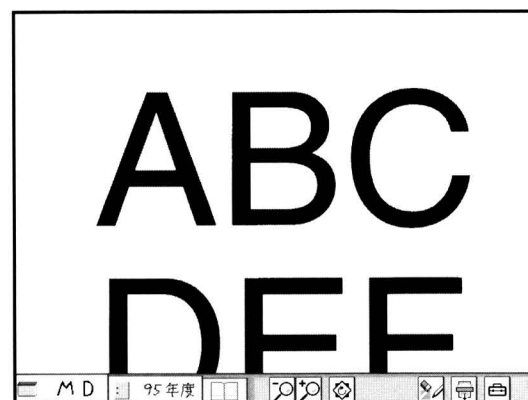
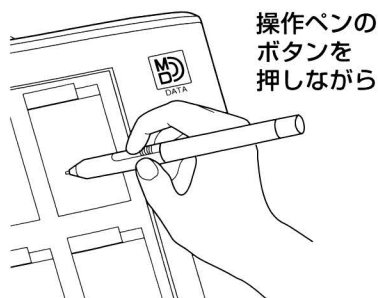
**ページを回転させて表示したいときは**

をタッチすると、ページが回転して表示され、メッセージが出ます。

- さらに回転させたいときは［さらに回転］をタッチします。
- 回転表示した状態でそのページを保存したいときは［保存する］をタッチします。

## 3 ページ一覧で、見たいページをタッチする。

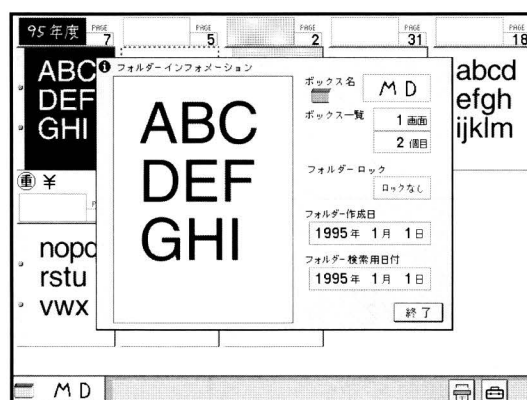
ページ一覧画面

そのページが表示されます。

ページ表示画面

## フォルダー一覧画面のとき、各フォルダーの情報(保存されているボックス名や作成日など)を見ることができます。

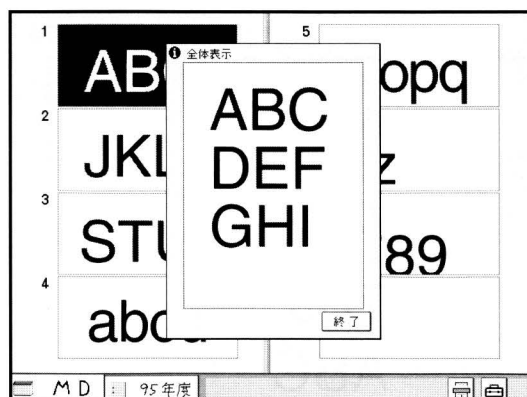
操作ペンのボタンを押しながら、情報を見たいフォルダーをタッチします。

フォルダー情報として、

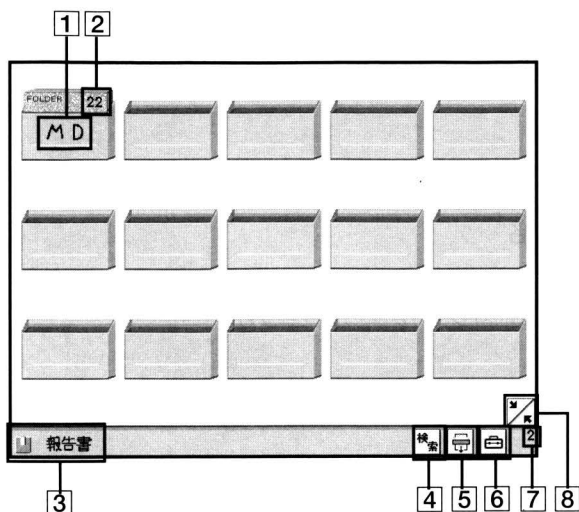
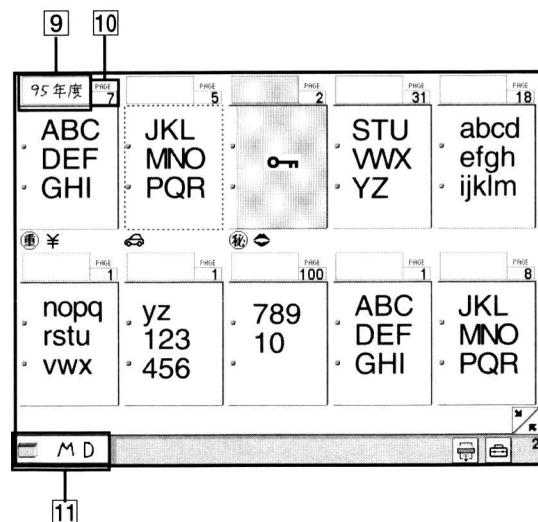
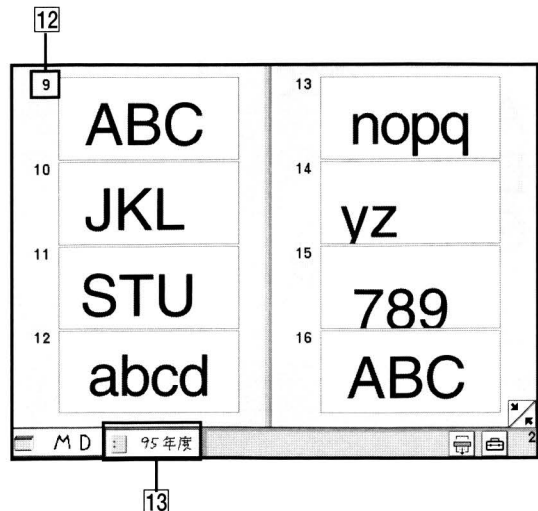
- フォルダーの1ページ目の全体表示
- 保存されているボックス名
- ボックス一覧での位置
- ロック(57ページ)されているフォルダーかどうか
- フォルダーの作成日
- 検索用日付(53ページ)

が表示されます。

[終了]をタッチすると、フォルダー一覧画面に戻ります。

## ページ一覧画面のとき、各ページの全体を表示できます。

操作ペンのボタンを押しながら、全体を表示したいページをタッチします。

[終了]をタッチすると、ページ一覧画面に戻ります。

# 操作画面の各部について

## ボックス一覧画面

## フォルダー一覧画面

## ページ一覧画面

1 **ボックスタイトル表示**(48ページ)

2 **フォルダー数表示**
そのボックスに入っているフォルダーの数を表示します。

3 **ディスク名(ラベル)表示**
開いているディスクの名前(ラベル)が表示されます。ただし、ラベルが付いていないときは、ラベルは空欄で表示されます。

4 **検索ボタン**
ディスク全体から希望のフォルダーを検索するときにタッチします(54ページ)。

5 **スキャンボタン**
タッチするとスキャンモードに切り換わります。(30、46、66ページ)

6 **ツールボタン**
タッチすると各種機能ボタンが表示されます。(41ページ)

7 現在のボックス一覧画面が何番めの画面かを表示します。

8 **一覧画面送り／戻しボタン**
：タッチすると、前の一覧画面に戻ります。
：タッチすると、次の一覧画面に移ります。
矢印が表示されていないときは、前または次の画面はありません。

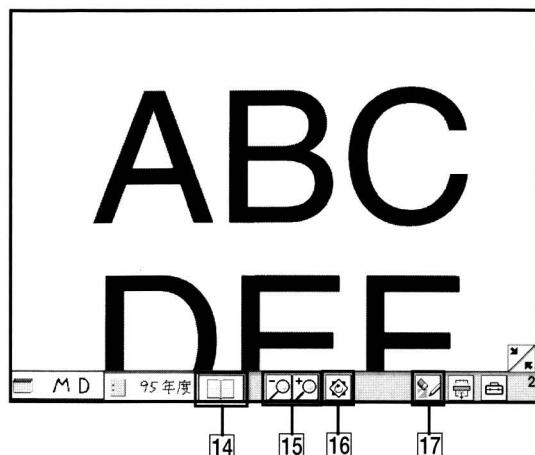
9 **フォルダータイトル表示**(48ページ)

10 **ページ数表示**
そのフォルダーに入っているページ数を表示します。

11 **ボックスタイトル表示**
開いているボックスの名前(ボックスタイトル)が表示されます。ただし、ボックスタイトルが付いていないときは、タイトルは空欄で表示されます。
タッチすると、ボックス一覧画面が表示されます。

12 **ページ数表示**
そのページが何ページ目かを表示します。

13 **フォルダータイトル表示**
開いているフォルダーの名前(フォルダータイトル)が表示されます。ただし、フォルダータイトルが付いていないときは、タイトルは空欄で表示されます。
タッチすると、フォルダー一覧画面が表示されます。

## ページ表示画面

⑭ **ページ一覧ボタン**
タッチすると、ページ一覧画面が表示されます。

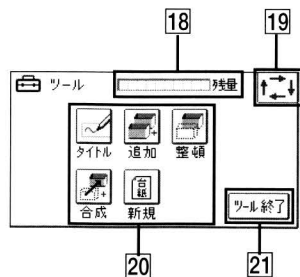
⑮ **ページ縮小／拡大ボタン**
タッチするたびに、画面を縮小／拡大表示します。（36ページ）

⑯ **ページ回転ボタン**
ページを回転させて表示します。（36ページ）

⑰ **編集ボタン**
タッチすると、各種の編集ボタンが表示されます。（51ページ）。

## ツールメニュー

各操作画面の[ツールボタン]をタッチすると、次のようなツールメニューが表示されます。操作画面によって表示されるツールメニューが異なります。

### 例：ボックス一覧画面のツールメニュー

⑱ **ディスクの残量表示**
ディスク全体に対して、現在どれくらいの割合で空いているかを、[残量表示]の白い部分で表示します。

⑲ **ツールメニュー移動ボタン**
タッチするたびに、矢印の向き（時計回り）にツールメニューが移動します。

⑳ **各種機能ボタン**
各ボタンの詳しい機能については「応用操作」（51〜64ページ）をご覧ください。

㉑ **［ツール終了］ボタン**
タッチすると、ツールメニューが消えます。

**ご注意**
ツールメニューを表示しているときは、ツールメニュー内のボタンしか使えません。ツールメニュー内のボタン以外は、［ツール終了］ボタンをタッチしてツールメニューを消してから、タッチしてください。

# →操作画面の各部について

### 操作するときのご注意

各種ボタンが、下のように薄く表示されているときは、そのボタンをタッチしても操作できません。

通常の表示（有効表示）

薄くなった表示

## ビープ音について

次のとき、ビープ音（「ピッ」または「ピン」という音）が鳴るので操作が確認できます。

- 電源を入れたとき（17ページ）
  「ピン」と鳴ります。
- 本体に内蔵のスキャナーに原稿を差し込んだとき（32ページ）
  「ピッ」と鳴ります。
- 本体に内蔵のスキャナーで読み取りを失敗したとき（32ページ）
  「ピピピッ」と鳴ります。
- 暗証番号を確認する場合で、暗証番号を間違えて入力したとき（60ページ）
  「ピピピッ」と鳴ります。
- 市販のプリンターに接続して印刷する場合で、正しく印刷できなかったとき（70ページ）
  「ピピピッ」と鳴ります。

ビープ音の音量は無音（鳴らないようにする）を含めて4段階に設定できます。

1. 初期画面で[システム設定]をタッチする。
   システム設定画面が表示されます。
2. [ビープ音量設定]をタッチする。
   ビープ音量設定画面が表示されます。
3. [↑+]、[↓−]をタッチして、希望の音量に切り換える。
   切り換えるたびに、その音量のビープ音が1回鳴ります。
4. [設定]をタッチする。
   システム設定画面に戻ります。
5. [設定終了]をタッチする。
   ビープ音量が設定され、初期画面に戻ります。

# 書類を保存し直す

保存した書類は、次に示す機能を使って保存し直すことができます。各機能は、操作画面上で次のような記号で表示されています。記号をタッチして機能を選んでください。

| 記号(機能名) | その機能でできること |
|---|---|
| 合成 (合成) | 2つのボックス／フォルダーを1つにまとめる。 |
| 移動 (移動) | フォルダー／ページを別の場所に移す。 |
| 複製 (複製) | フォルダー／ページのコピーを作る。 |
| 共有 (共有) | 1つのフォルダーを複数のボックスに登録する。 |
| (スキャン) | フォルダーにページを追加保存する。 |
| 削除 (削除) | 不要なフォルダー／ページを削除する。 |
| タイトル (タイトル) | ボックス／フォルダーに名前を付ける。 |

# →書類を保存し直す

## 合成：2つのボックス／フォルダーを1つにまとめる

2つのボックスを1つのボックスにまとめたいときはボックス一覧画面、2つのフォルダーを1つのフォルダーにまとめたいときはフォルダー一覧画面で操作します。
合成する2つのボックスまたはフォルダーを選ぶとき、後でタッチしたボックスまたはフォルダー(合成先)の位置にまとめられます。合成したボックスまたはフォルダーは、合成先のボックスまたはフォルダーの最後に追加されます。

**1** **操作を行う画面(ボックス一覧またはフォルダー一覧画面)を開く。**

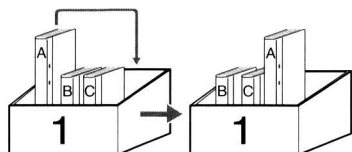
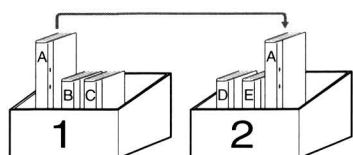
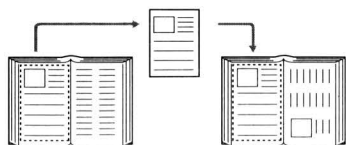
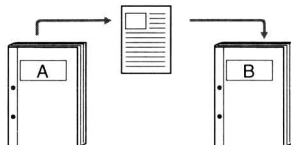
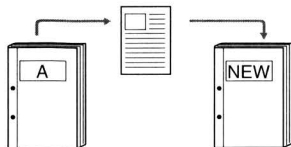
**2** **[ツール]をタッチして、ツールメニューを開く。**

**3** **[合成](ボックス一覧画面)または[合成](フォルダー一覧画面)をタッチする。**

**4** **合成で移動する側のボックスまたはフォルダーをタッチする。**

**5** **合成先のボックスまたはフォルダーをタッチする。**
ここで選んだボックスまたはフォルダーの位置に合成して保存し直されます。

**6** **合成したボックスまたはフォルダーに付けるタイトルをタッチする。**
合成した2つのボックスまたはフォルダーのどちらかのタイトルを、合成でまとめたものに付けることができます。
ボックスを合成したときは、合成で移動した側のボックスは空になり、ボックスタイトルだけが残ります。

**ご注意**
手順5で、ボックスやフォルダーの合成先を指定してから合成が完了するまで、しばらく時間がかかります。POWER/BUSYランプがオレンジ色に点滅している間は、ディスクにデータを書き込んでいる状態(処理中)ですので、そのままお待ちください。

# 移動：フォルダー／ページを別の場所に移す

フォルダーを移動したいときはフォルダー一覧画面、ページを移動したいときはページ一覧画面で操作します。

**1** **操作を行う画面(フォルダー一覧またはページ一覧画面)を開く。**

**2** **をタッチして、ツールメニューを開く。**

**3** **をタッチする。**
移動

**4** **移動するフォルダーまたはページをタッチする。**

**5** **手順4で選んだフォルダーまたはページの移動先の位置をタッチする。**

### フォルダーをボックス内の別の位置に移動するとき

移動先のフォルダーをタッチする。
選んだ位置に移動し、その他のフォルダーは空いたところを詰めて保存し直されます。

### フォルダーを別のボックスの最後に移動するとき

1 画面左下のボックスタイトル表示(38ページ)をタッチする。
ボックス一覧画面が表示されます。
2 移動先のボックスをタッチする。
選んだボックスの最後のフォルダーとして、保存し直されます。

### ページをそのフォルダー内の別の位置に移動するとき

移動先のページをタッチする。
選んだ位置に移動し、その他のページは空いたところを詰めて保存し直されます。

次のページへつづく ➔

**ページを別のフォルダーの最後に移動するとき**

1 画面左下のフォルダータイトル表示(38ページ)をタッチする。
フォルダー一覧画面が表示されます。
2 移動先のフォルダーをタッチする。
選んだフォルダーの最後のページとして、保存し直されます。

**ページを新規フォルダーに入れるとき**

1 画面左下のフォルダータイトル表示(38ページ)をタッチする。
フォルダー一覧画面が表示され、「ページを移動する先のフォルダーを選んでください。」というメッセージが表示されます。
2 [新規フォルダー]をタッチする。
開いているボックスの最後に、新規フォルダーとして保存し直されます。

## 複製:フォルダー/ページの複製を作る

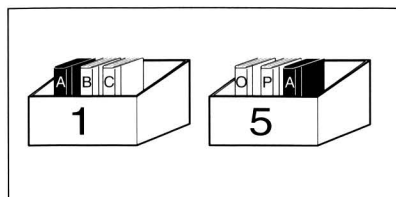
フォルダーの複製を作りたいときはフォルダー一覧画面、ページの複製を作りたいときはページ一覧またはページ表示画面で操作します。

**1 操作を行う画面(フォルダー一覧、ページ一覧またはページ表示画面)を開く。**

**2 [ツール]をタッチして、ツールメニューを開く。**

**3 [複製]をタッチする。**

**4 複製を作るフォルダーまたはページをタッチする。**
次のフォルダーまたはページの位置にコピーが作られ、その後のフォルダーまたはページは1つずつ後にずれます。

**ご注意**
手順4で、フォルダーまたはページの複製を作るのに、しばらく時間がかかることがあります。POWER/BUSYランプがオレンジ色に点滅している間は、ディスクにデータを書き込んでいる状態(処理中)ですので、そのままお待ちください。

**ご注意**

共有で登録したフォルダーは、保存し直したり(41ページ)、編集したり(49ページ)すると、他のボックスで共有しているフォルダーにも、変更内容が反映されます。
ただし、共有しているフォルダーをフォルダー単位で削除すると、他のボックスで共有しているフォルダーは、削除されずに残ります。(共有しているフォルダーをページ単位で削除していくと、他のボックスで共有しているフォルダーのページは削除されていきます。)

## 共有：1つのフォルダーを複数のボックスに登録する

1つのフォルダーを複数のボックスから開いて見ることができます。例えば、あるプロジェクトの企画書を、そのプロジェクトの関係書類だけをまとめたボックスと、あらゆるプロジェクトの企画書だけをまとめたボックスの両方から開いて見ることができます。
フォルダー一覧画面で操作します。

**1** **フォルダー一覧画面を開く。**

**2** **[ツールメニュー]をタッチして、ツールメニューを開く。**

**3** **[共有]をタッチする。**

**4** **共有したいフォルダーをタッチする。**

**5** **手順4で選んだフォルダーの登録先のボックスをタッチする。**

選んだボックスの最後のフォルダーとして登録されます。
この操作(共有)で登録したフォルダーは、フォルダー一覧画面で次のように[点線]の枠で囲まれて表示されます。

応用操作

# →書類を保存し直す

## スキャン:フォルダーにページを追加保存する

フォルダー一覧、ページ一覧またはページ表示のどの画面でも操作できます。

**1** **操作を行う画面を開く。**

必ず目的に合った画面を開いてください。

- **既存のフォルダーに追加保存する場合**
  フォルダー一覧画面
- **既存のフォルダー内の特定の位置に追加保存する場合**
  ページ一覧、またはページ表示画面(開いたページの前に追加保存される)

**2** **をタッチする。**

**3** **ページを追加保存する位置をタッチする。**

開いている画面によって次の場所に保存されます。

- **フォルダー一覧画面**
  タッチしたフォルダーの最後のページとして追加保存されます。
- **ページ一覧画面**
  タッチしたページの前に追加保存されます。
  (例：2ページ目と3ページ目の間に追加保存したいときは3ページ目をタッチします。)
  [最後に追加]をタッチすると、開いているフォルダーの最後のページとして追加保存されます。
- **ページ表示画面**
  [実行]をタッチすると、開いているページの前に追加保存されます。
  [最後に追加]をタッチすると、開いているフォルダーの最後のページとして追加保存されます。

**4** **SCANNER OPENつまみを矢印の方向に動かして、スキャナーカバーを開ける。**

スキャンモード選択メニューが表示されます。

**ご注意**

- ボックス一覧画面で操作すると、保存先のボックスを選ぶメッセージが表示されます。このときは、選ばれたボックスに新規フォルダーが作られ、そこに保存されます(30ページ)。
- スキャナーカバーを閉めた状態で操作をするとスキャナーを選択するメッセージが表示されます。
  メッセージにしたがって本体前面のスキャナーカバーを開けて操作してください。

**別売りハンディスキャナーを使うときは**

「保存する」(66ページ)をご覧ください。

**新規フォルダーとして保存するときは**

フォルダー一覧画面で、[新規フォルダー]をタッチすると、今開いているボックスの最後に新規フォルダーとして保存されます。

**付属の原稿ホルダーを使うと、スキャンモード選択メニューに表示される原稿サイズ以外の変形原稿も、読み込むことができます。**

「原稿フォルダー(付属)の使い方」(28ページ)をご覧ください。

**5 希望のスキャンモードに設定する。**

各項目の中で希望のものをタッチします。
詳しくは、「書類を保存する(スキャン)」(30ページ)の手順4をご覧ください。

**6 原稿を差し込む(「書類を保存する(スキャン)」(30ページ)手順5〜6参照)。**

**7 全ての原稿の読み取りを終えたら、[スキャン終了]をタッチする。**

もとの(手順1で選んだ)画面に戻ります。



## 削除：不要なフォルダー/ページを削除する

フォルダーを削除したいときはフォルダー一覧画面、ページを削除したいときはページ一覧またはページ表示画面で操作します。

**1 操作を行う画面(フォルダー一覧またはページ一覧画面、ページ表示)を開く。**

**2 をタッチして、ツールメニューを開く。**

**3 [削除]をタッチする。**

**4 削除するフォルダーまたはページをタッチする。**

削除の確認画面が表示されます。

**5 [実行]をタッチする。**

指定したフォルダーまたはページが削除され、その後のフォルダーまたはページは前につめられます。

# →書類を保存し直す

## タイトル：ボックス／フォルダーに名前を付ける

ボックスに名前を付けたいときはボックス一覧画面、フォルダーに名前を付けたいときはフォルダー一覧画面で操作します。

**フォルダーには、名前のほかにも、検索用のマーク、日付の設定ができます。**
詳しくは「フォルダーに検索用の日付やマークを付ける」(53ページ)をご覧ください。

**1 操作を行う画面(ボックス一覧またはフォルダー一覧画面)を開く。**

**2 をタッチして、ツールメニューを開く。**

**3 タイトル をタッチする。**

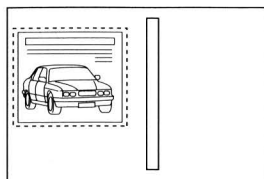
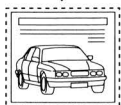
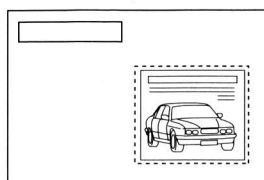
**4 タイトルを設定するボックスまたはフォルダーをタッチする。**
タイトル設定画面が表示されます。

**5 枠内に、操作ペンでタイトルを記入する。**
記入のしかたについて、詳しくは、「ディスクに名前を付ける(ラベル設定)」(23ページ)の手順5をご覧ください。

**書いた内容を消すには**
[全クリア]をタッチします。

**6 [設定]をタッチする。**
手順5で記入した内容を、ボックスまたはフォルダーのタイトルとして登録します。

# 書類を編集する(スクラップ)

ページ表示画面

抜き出す

貼り付け

**クリップする範囲を探す**

次の記号をタッチすると、画面の表示範囲を変え、クリップする部分を探せます。

タッチすると、このボタンが反転表示になります。このボタンが反転している状態で、画面の見たい方向をタッチしてください。(36ページ参照)。

タッチするたびに画面が縮小表示されます。

タッチするたびに画面が拡大表示されます。

**始点の位置やクリップする範囲を指定し直したいときは**

をタッチすると、始点の指定からもう1度やり直せます。

**ご注意**

ペーストする前にディスクを取り出したり、電源を切ったりすると、記憶されたクリップの内容は消えてしまいます。

## クリップ/ペースト:切り貼りする

ページのある部分を取り出して(クリップ)、好きなところに貼り付ける(ペースト)ことができます。
1回の操作で、クリップやペーストができるのはそれぞれ1部分です。
ページ表示画面で操作します。

**1 クリップしたい部分を含むページを開く。**

**2 をタッチする。**

編集モード画面に変わります。

**3 をタッチする。**

クリップモードに入ります。

**4 クリップする範囲を指定する。**

操作ペンで最初にタッチした点に[+]が表示されます。指定したい範囲の対角線上の点をタッチします。
指定した範囲が枠で囲まれディスクに記録されます。記録が終了すると、(ペースト)ボタンが有効表示になります。

**5 ペーストしたいページを開く。**

表示中のページ以外のページにペーストしたいときは、[編集終了]をタッチして編集モードを終了してから、希望のページを開きます。

次のページへつづく →

# →書類を編集する(スクラップ)

**新規台紙にもペーストできます。**
52ページをご覧ください。

**ご注意**

- 枠にペーストデータが入りきらないときは、「現在の表示倍率では貼り付けるデータが入りません。縮小した後、再表示を実行します。」というメッセージが表示されます。[実行]をタッチすると、ペーストデータが入る大きさに画面を縮小します。
- ペーストデータが、貼り付けようとするページに入りきらないときは、ペーストを中止するメッセージが表示されます。

**ペーストする範囲を探す**
クリップする範囲を探すときと同様に、、、を使います。詳しくは、前ページの「クリップする範囲を探す」をご覧ください。

**ペーストする位置の指定をやり直したいときは**

をタッチします。

## 6 をタッチする。

ペーストモードに入り、ペーストするデータの範囲表示枠が画面中央に表示されます。

## 7 操作ペンで枠内を押したままペーストしたい場所へ枠を移動して、操作ペンを画面から離す。

操作ペンを離した場所で枠は止まり、実際のデータがその場所に表示されます。

## 8 [編集終了]をタッチする。

編集結果の保存をするかしないかを尋ねるメッセージが表示されます。[保存する]、[保存しない]、[キャンセル]の中から希望のものをタッチします。[キャンセル]を選ぶと、編集終了を取り消して編集モードに戻ります。

## 手書きメモ：メモを記入する

保存してあるページに手書きメモ（文字や絵など）を自由に書き込み、保存し直せます。
ページ表示画面で操作します。

### 1 メモを記入したいページを開く。

### 2 をタッチする。

編集モード画面に変わります。

### 3 機能ボタンをタッチして機能を選び、作業する。

**各ボタンの機能について**

| ボタン | 機能名 | その機能でできること／操作 |
|---|---|---|
| | ペン* | 文字や曲線を描く。<br>黒く描きたいところをなぞります。 |
| | 直線* | 直線を描く。<br>始点と終点をタッチして、指定します。 |
| | 矩形枠* | 枠を描く。<br>対角線上に始点と終点をタッチして、指定します。 |
| | 黒塗りつぶし | 黒塗枠を描く。<br>対角線上に始点と終点をタッチして、指定します。 |
| | 白塗りつぶし | 白塗枠を描く。<br>対角線上に始点と終点をタッチして、指定します。 |
| | 消しゴム* | 白く塗る。<br>白く塗りたいところをなぞります。 |
| | UNDO（やり直し） | 動作のやり直しをする。<br>• ペンまたは消しゴムのとき：<br>ペンまたは消しゴムを選んでから、このボタンをタッチするまでに記入した内容が全て消えます。<br>• 始点と終点を指定する機能のとき：<br>始点または終点を指定した後で、このボタンをタッチすると、始点の指定からやり直しになります。 |

* 操作ペンで記号をタッチするたびに、記号の中のペンや消しゴムの太さが変わり、太さの段階を確認できます。描く線の太さは3段階の中から選べます。

### 4 [編集終了]をタッチする。

編集結果の保存をするかしないかを尋ねるメッセージが表示されます。[保存する]、[保存しない]、[キャンセル]の中から希望のものをタッチします。[キャンセル]を選ぶと、編集終了を取り消して編集モードに戻ります。

**便利な機能**

画面を見やすい範囲や大きさに調節できます。

タッチすると、このボタンが反転表示になります。このボタンが反転している状態で、画面の見たい方向をタッチしてください。（36ページ参照）。

タッチするたびに画面が縮小表示されます。

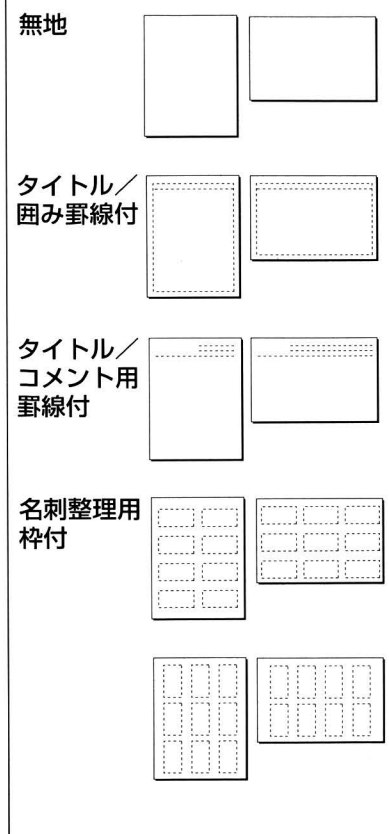
タッチするたびに画面が拡大表示されます。

**メモを記入するときの線は、画面に表示された太さで描き込まれます。**

ページは、6段階の間で縮小／拡大表示できますが、線の太さなどは、画面の縮小／拡大の比率によって異なります。
例えば、一番細い線を選んだ場合、画面を最も拡大させたときに、最も細い線を描き込めます。

# 台紙を作成する

**作成できる台紙の種類**

- 無地
- タイトル／囲み罫線付
- タイトル／コメント用罫線付
- 名刺整理用枠付

**電子メモとして使う**

台紙に手書きメモを直接書き込んで保存すると、電子メモとしても使えます。

**名刺整理に使う**

保存(スキャン)してある名刺を、クリップ／ペーストを使って、名刺整理用枠付の台紙に貼り付けて、整理できます。

無地や罫線/枠付の台紙を作成し、保存できます。クリップとペースト、メモ記入を組み合わせて書類を編集できます。

## 1 操作を行う画面を開く。

必ず目的に合った画面を開いてください。

- **新規フォルダーとして保存する場合**
  ボックス一覧、またはフォルダー一覧画面(保存したいボックスをタッチして開く)
- **既存のフォルダーに追加保存する場合**
  フォルダー一覧画面
- **既存のフォルダー内の特定の位置に追加保存する場合**
  ページ一覧、またはページ表示画面(開いたページの前に追加保存される)

## 2 [ツール]をタッチして、ツールメニューを開く。

## 3 [台紙 新規]をタッチする。

## 4 新規台紙の保存先を指定する。

開いている画面によって、次の場所に保存されます。

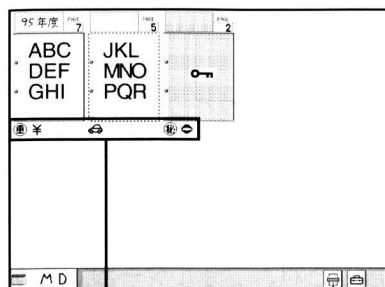
- **ボックス一覧画面**
  タッチしたボックスの最後に、新規フォルダーとして保存されます。
- **フォルダー一覧画面**
  タッチしたフォルダーの最後のページとして追加保存されます。
  [新規フォルダー]をタッチすると、開いているボックスの最後に、新規フォルダーとして保存されます。
- **ページ一覧画面**
  タッチしたページの前に追加保存されます。
  [最後に追加]をタッチすると、開いているフォルダーの最後のページとして追加保存されます。
- **ページ表示画面**
  [実行]をタッチすると、表示しているページの前に追加保存されます。
  [最後に追加]をタッチすると、開いているフォルダーの最後のページとして追加保存されます。

保存先を指定すると、台紙の選択画面が表示されます。

## 5 希望の台紙をタッチする。

選んだ種類の台紙が、手順4で指定した場所に保存されます。

# フォルダーを検索する(検索)

フォルダー一覧画面

検索用マーク

## 検索に使う条件について

保存した書類は、フォルダー単位で検索できます。検索には、次の2つの条件を使います。

- 日付(検索用日付)
- マーク

これら2つの条件は、書類を保存(スキャン)した後に、フォルダーごとに設定します。検索用マークが付いているフォルダーは、フォルダー一覧画面でそのマークが表示されています。

## フォルダーに検索用の日付やマークを付ける

検索用日付は、好きな日付を設定できます。特に設定し直さなければ、そのフォルダーを最初に保存した日付(作成日)に設定されています。
検索用マークは、1つのフォルダーに2つまで設定できます。

**1** **フォルダー一覧画面を開く。**

**2** **[ツールメニュー]をタッチして、ツールメニューを開く。**

**3** **[設定]をタッチする。**

**4** **検索用日付やマークを設定するフォルダーをタッチする。**
フォルダー設定画面が表示されます。

**5** **検索用日付、マークを設定する。**

**検索用日付を設定する**

1 [検索用日付]をタッチする。
日付設定画面が表示されます。
2 [↑+]、[↓−]をタッチして希望の年月日を設定する。
3 [設定]をタッチする。
検索用日付がフォルダーに設定され、フォルダー設定画面に戻ります。

**検索用日付はそのフォルダーの作成日でない日付にも設定できます。**

**検索用日付をスキャンした日付に戻したいときは**
日付設定画面で[作成日]をタッチします。

# →書類を検索する(検索)

**マークを選び直すときは**
[全クリア]をタッチすると、選んだマークを消せます。

**検索用マークの付けかたの一例**
各フォルダーのタイトルに合わせて、あ、か、さ、た…わの検索マークを設定しておきます。
例えば、タイトルがあ行で始まるフォルダーには、検索用マークのあを設定しておきます。
そうすると、タイトルのあ行、か行、さ行…別に検索できます。

**マークを設定する**

1 [マーク]をタッチする。
　マーク設定画面が表示されます。
2 60種類のマークの中から、付けたいマークをタッチする。
　マークは2つまで選べます。下の欄にタッチしたマークが表示されます。
3 [設定]をタッチする。
　検索用マークがフォルダーに設定され、フォルダー設定画面に戻ります。

### 6 [設定終了]をタッチする。

フォルダー設定画面が消えます。

## フォルダーを検索する

MDデータディスクに保存されている全てのボックスの中から、設定した検索条件(検索用日付や検索用マーク)にあてはまるフォルダーを検索します。検索条件は、検索用日付か検索用マークのどちらか一方を設定するだけでも検索できます。
1度設定した検索条件の設定は、そのディスクを取り出すまで残っています。
ボックス一覧画面で操作します。

### 1 ボックス一覧画面を開く。

### 2 [検索]をタッチする。

検索条件設定画面が表示されます。
前回検索を行っているときは、前回の検索条件が表示されます。初めての検索のときは、日付、マークは表示されません。

**検索条件の日付を消すときは**
[クリア]をタッチすると、表示されている日付が消えます。

**マークを選び直すときは**
[全クリア]をタッチすると、選んだマークを消すことができます。

**日付とマークが設定されていないときは**
全てが検索対象になります。

**検索されたフォルダーを開きたいときは**
開きたいフォルダーをタッチした後で[実行]をタッチすると、そのページ一覧またはページ表示画面に移ることができます。

**検索結果表示からボックス一覧画面に戻るときは**
画面左下のボックスタイトル表示 をタッチします。

## 3 検索条件を設定する。

### 検索条件の日付を設定する

1 [年月日検索設定]をタッチする。
　年月日検索設定画面が表示されます。
2 [↑+]、[↓−]をタッチして希望の年月日を設定する。
3 [設定終了]をタッチする。
　検索条件の日付が設定され、検索条件設定画面に戻ります。

### 検索条件のマークを設定する

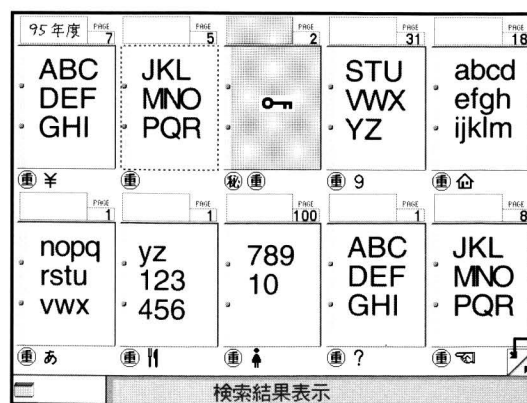
1 [マーク検索設定]をタッチする。
　マーク検索設定画面が表示されます。
2 60種類のマークの中から、検索したいものをタッチする。
　マークは2つまで選べます。[マーク]の欄に、タッチしたマークが表示されます。
3 [設定]をタッチする。
　検索条件のマークが設定され、検索条件設定画面に戻ります。

## 4 [検索実行]をタッチする。

検索を始めます。終了すると検索結果(検索されたフォルダーの数)を表示します。

## 5 [結果表示]をタッチする。

検索結果表示画面に検索したフォルダーが一覧表示されます。

応用操作

# しおりを使う（しおり）

フォルダーの希望のページにしおりを付けることができます。しおりの付いているページがあるときは、フォルダー一覧画面でフォルダーをタッチすると、自動的にしおりの付いているページを表示します。しおりは1つのフォルダーに1つだけ付けることができます。

**1　ページ一覧画面を開く。**

**2　[ツール]をタッチして、ツールメニューを開く。**

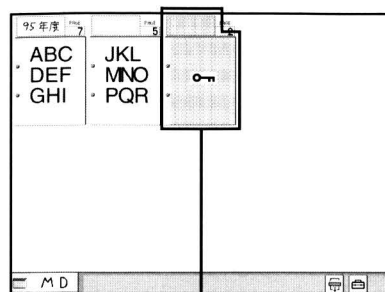
**3　[しおり]をタッチする。**

**4　しおりを付けたいページをタッチする。**
そのページにしおりが付き、ツールメニューに戻ります。

**ご注意**
同じフォルダー内の別のページにしおりを付けると、前に付いていたしおりは削除されます。

### しおりを取り除くときは

手順3まで操作し、［削除］をタッチします。

# 他人に見られないようにする(ロック)

ロックされている
フォルダー

## ロックが働く条件について

保存した書類は、フォルダー単位で他人に見られないようにすること(ロック)ができます。
次の3つの条件を全て満たしているときだけ、フォルダーにロックが働きます。

- そのフォルダーにロックが設定してあること。
- そのフォルダーの入っているディスクに暗証番号が付いていること。
- その暗証番号が付いているディスクを入れたときに、正しい暗証番号を入力しなかった場合。

ロックが働いているフォルダーは、フォルダー一覧画面で「O┳┳」が表示されています。

応用操作

## フォルダーをロックする

ディスクに付けた、正しい暗証番号が確認されない限り、ロックしたフォルダーは開けません。

**ご注意**
暗証番号が付いているディスクを、暗証番号を入力せずに開いたときは、ロックの設定はできません。

**1** **フォルダー一覧画面を開く。**

**2** **[ツール]をタッチして、ツールメニューを開く。**

**3** **[設定]をタッチする。**
フォルダー選択のメッセージが表示されます。

**4** **ロックするフォルダーをタッチする。**
フォルダー設定画面が表示されます。

**5** **[ロック]をタッチする。**
フォルダーロック設定画面が表示されます。

# →他人に見られないようにする(ロック)

**ロックしたフォルダーは**

手順7の後、ディスクを取り出すまで見ることができます。
次回に、ロックしたフォルダーを見るためには、そのディスクを入れたときに、正しい暗証番号を確認してください。

### 6 [ロック]をタッチする。

手順4で選んだフォルダーがロックされます。

### 7 [設定終了]をタッチする。

設定を終了し、フォルダー一覧画面に戻ります。
ディスクに暗証番号を付ける(59ページ)と、次回から、そのディスクを入れたときに暗証番号を確認しない場合に、そのフォルダーにはロックが働きます。

## フォルダーをロックするのをやめるときは

ディスクを入れたときに、正しい暗証番号を確認してから操作します。

1 フォルダー一覧画面を開く。
2 をタッチして、ツールメニューを開く。
3 設定 をタッチする。
4 ロックをやめるフォルダーをタッチする。
フォルダー設定画面が表示されます。
5 [ロック]をタッチする。
フォルダーロック設定の画面が表示されます。
6 [解除]をタッチする。
そのフォルダーのロックは解除され、フォルダー設定の画面が表示されます。
7 [ロックなし]と表示されていることを確認してから、[設定終了]をタッチする。
フォルダー設定の画面が消え、フォルダー一覧画面に戻ります。

## ディスクに暗証番号を付ける

ディスクに暗証番号を付けておくと、そのディスク内のロックされたフォルダーは、正しい暗証番号を確認しないと開けません(フォルダーのロックのしかたは57ページを、暗証番号の確認のしかたは60ページをご覧ください)。
初期画面(17ページ)で操作を始めます。

### 1 初期画面を表示する。

- ディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押してディスクを取り出す。
- 電源が入っていないときは、POWER ON/OFFスイッチを矢印の方向に動かして電源を入れる。

### 2 [ディスク設定]をタッチする。

### 3 MDデータディスクを入れる。

ディスク設定メニューが表示されます。

### 4 [暗証番号]をタッチする。

暗証番号の設定画面が表示されます。

### 5 4桁の暗証番号を入力する。

0〜9の希望の数字を4桁分タッチします。
数字をタッチするたびに、その数字が登録され、上のマス目には「＊」が表示されます。

### 6 [設定]をタッチする。

手順5で入力した暗証番号が設定されました。
次にディスクを入れたときは、メッセージにしたがってこの暗証番号を確認しないと、そのディスクのロックされたフォルダーは開けません。

**数字を間違えて、暗証番号を入力し直したいときは**
[設定しない]をタッチすると、ディスク設定メニューに戻ります。手順4からやり直してください。

**ご注意**
ディスクに設定した暗証番号を忘れてしまうと、そのディスク内のロックされたフォルダーは、2度と開けなくなります。暗証番号は、絶対に忘れないでください。

### 暗証番号を付け直すときは

1「ディスクに暗証番号を付ける」(前ページ)の手順1～4の操作を行う。
現在の暗証番号の確認画面が表示されます。
2 現在付いている暗証番号を入力する。
現在の暗証番号を正しく入力できると、暗証番号の設定画面が表示されます。
「ピピピッ」という音が鳴ったときは、現在の暗証番号が正しく入力されていません。
画面上では、上のマス目が「＊＊＊＊」から「－－－－」に戻ります。正しい暗証番号を入力してください。
3「ディスクに暗証番号を付ける」(前ページ)の手順5～6の操作を行う。

**暗証番号をなくすときは**
手順2の後、暗証番号の設定画面で[設定しない]をタッチします。
そのディスクから暗証番号がなくなり、ディスク設定メニューに戻ります。

## ロックが働いているフォルダーを見る

ロックが働いているフォルダーは、ディスクを入れたときに暗証番号を確認することにより、見ることができます。
一度、暗証番号を確認すると、そのディスクを取り出すまでロックは働きません。

**1 ロックされているフォルダーの入っているディスクを入れる。**
暗証番号を入力するかしないかを尋ねるメッセージが表示されます。

**ご注意**
手順2で、[確認しない]をタッチすると、ロックされているフォルダーを見ることができません。

**ご注意**
「ピピピッ」という音がなったときは、暗証番号が正しく入力されていません。もう1度正しい暗証番号を入力してください。

## 2 [確認する]をタッチする。

暗証番号入力画面が表示されます。

## 3 4桁の暗証番号を入力する。

[0]～[9]の数字を4桁分タッチします。
数字をタッチするたびに、その数字が入力され、上のマス目には「＊」が表示されます。
正しく入力されると、ボックス一覧画面が表示されます。フォルダー一覧画面では、ロックが働いていたフォルダーの「O┳」が消え、そのフォルダーを開くことができます。

# 別のディスクに保存する(ディスクコピー)

万一、ディスクを紛失したり、ディスクに傷がついて使えなくなったときのために、大切な書類が入ったディスクは、別のディスクに内容をコピーしておくことをおすすめします。

希望のページを1ページずつ別のディスク(ファイリングディスクとして初期化済みのもの)にコピーできます。

**1** **ページ一覧またはページ表示画面を開く。**

**2** **をタッチして、ツールメニューを開く。**

**3** **をタッチする。**

コピー

別のディスクに、どのページをコピーしたいかを尋ねるメッセージが表示されます。手順1でページ表示画面を開いていたときは、ページ一覧画面に変わります。

**4** **別のディスクへコピーしたいページをタッチする。**

コピー元のディスクがイジェクトされ、コピー先(別)のディスクを入れるよう指示するメッセージが表示されます。

**5** **コピー先のディスクを入れる。**

コピー先のボックス一覧画面が表示されます。

**6** **コピー先のボックス、フォルダーをタッチして選ぶ。**

手順4で指定したページがコピー先のディスクの選んだフォルダーに保存され、コピー先のディスクがイジェクトされます。

**7** **コピー元のディスクを入れる。**

同じフォルダー内に次のページがあるときは、メッセージが表示されます。

続けてコピーするときは、[実行]をタッチし、手順5~7を繰り返します。

コピーを終了するときは、[終了]をタッチします。

次のページがないときは、自動的にコピーが終わり、ページ一覧画面に戻ります。

**別のディスクに保存するのをやめるときは**

[中止]をタッチします。

**ご注意**

手順5で「このディスクは読み込みに問題があります。」と表示されたら、[イジェクト]をタッチしてそのディスクを取り出し、他のディスクを入れ直してください。

**新規フォルダーに保存したいときは**

[新規フォルダー]をタッチすると、手順4で指定したページがコピー先のディスクの新規フォルダーに保存されます。

# ボックスを追加する

現在のディスク内に、ボックスをさらに追加できます。
1回の操作で、ボックスは15個ずつ(1画面分)追加されます。ボックスは1枚のディスクに90個まで作ることができます。

**1** **ボックス一覧画面を開く。**

**2** **[ツールボックスアイコン]をタッチして、ツールメニューを開く。**

**3** **[追加アイコン]をタッチする。**
ボックス追加の確認表示が出ます。

**4** **[実行]をタッチする。**
ボックスが15個(1画面分)追加されます。

# ボックスを整頓する

空のボックスを削除し、最初から詰めて並べ直して、ボックスを整頓できます。タイトルが付いていても、そのボックスが空のときは、そのタイトルは消えてしまいます。整頓の結果、15個単位の画面表示で、ある画面以降が全て空のボックスとなる場合には、それらのボックスは、画面ごと削除されます。

1 **ボックス一覧画面を開く。**

2 **をタッチして、ツールメニューを開く。**

3 

**をタッチする。**

ボックスの整頓の確認表示が表示されます。

4 **[実行]をタッチする。**

ボックスが整頓されます。

**ご注意**

手順4で、ボックスの整頓が完了するまで、しばらく時間がかかります。POWER/BUSYランプがオレンジ色に点滅している間は、そのままお待ちください。

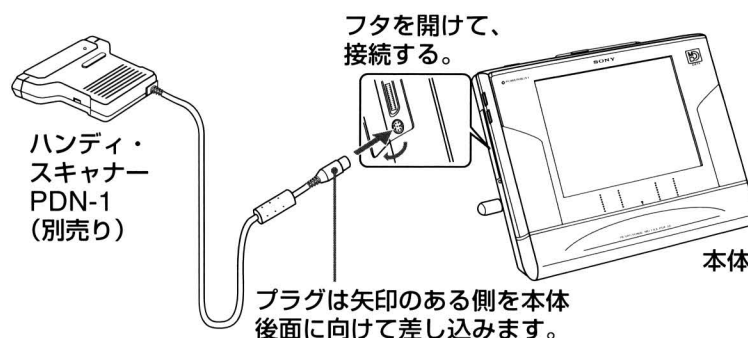
# 本体でスキャンできない書類を保存する

A4以上の原稿や、雑誌など綴じ込みのある原稿は、本体内蔵のスキャナーではスキャンできません。
これらの原稿を読み取るときは、別売りのハンディ・スキャナーを使って部分的にスキャンします。

**ご注意**
- 必ず本体の電源を切ってから、プラグを抜き差ししてください。
- プラグを抜くときは、プラグの部分を持って抜いてください。
  ケーブル部分を引っ張ると、故障の原因となります。

**ハンディ・スキャナーの使いかたについて**
詳しくは、ハンディ・スキャナーの取扱説明書をご覧ください。

## ハンディ・スキャナーをつなぐ

ハンディ・スキャナーPDN-1(別売り)のプラグを、本体の外部スキャナー入力端子に差し込みます。

## 原稿を読み取る前に

- ハンディ・スキャナーを使って1回で読み取れる範囲は、次の通りです。
  幅：はがきサイズの幅約102ミリ(固定)
  長さ：A4サイズのタテの長さ約296ミリ(可変、最大)
- A4サイズのタテの長さ(約296ミリ)分の原稿を読み取ると、ハンディ・スキャナーの読み取りボタンを押していても、自動的に読み取りが終了します。
  読み取った部分と、読み取ったときのスキャンモードが画面に表示されます。
- カラーの原稿を読み取る場合、読み取りにくい色があります。
  1度コピーを取った原稿で、読み取ることをおすすめします。
- (カラー、白黒に関わらず)写真を読み取る場合、同一色や濃淡差が少ない部分は、思い通りに読み取れないことがあります。
- 新聞などの写真を読み取る場合、ハンディ・スキャナーのモード切り換えつまみを、文字モードにして読み取ってください。
  写真モードにして読み取ると、読み取った原稿にムラができることがあります。
- 原稿を読み取るとき、ハンディ・スキャナーを一定速度で動かさないと、読み取った原稿にムラができることがあります。また、動かす速度が速いと、縦方向に縮小されて読み取られることがあります。

# →本体でスキャンできない書類を保存する

## 保存する

**ご注意**
- 本体のスキャナーカバーを閉じて操作を始めてください。
スキャナーカバーが開いた状態で操作を始めると、本体内蔵のスキャナーでスキャンするモードになります。

操作する前に、必ず本体のスキャナーカバーを閉じてください。
ハンディ・スキャナーの使いかたについては、ハンディ・スキャナーの取扱説明書も併せてご覧ください。

**1 本体の電源を切ってから、ハンディ・スキャナーをつなぐ(65ページ)。**

**2 電源を入れる。**

**3 操作を行う画面を開く。**
必ず目的に合った画面を開いてください。
- **新規フォルダーとして保存する場合**
ボックス一覧、またはフォルダー一覧画面(保存したいボックスをタッチして開く)
- **既存のフォルダーに追加保存する場合**
フォルダー一覧画面
- **既存のフォルダー内の特定の位置に追加保存する場合**
ページ一覧、またはページ表示画面(開いたページの前に追加保存される)

**4 [アイコン]をタッチする。**

**5 書類の保存先をタッチする。**
開いている画面によって、次の場所に保存されます。
- **ボックス一覧画面**
タッチしたボックスの最後に、新規フォルダーとして保存されます。
- **フォルダー一覧画面**
タッチしたフォルダーの最後のページとして追加保存されます。
[新規フォルダー]をタッチすると、開いているボックスの最後に、新規フォルダーとして保存されます。
- **ページ一覧画面**
タッチしたページの前に追加保存されます。
[最後に追加]をタッチすると、開いているフォルダーの最後のページとして追加保存されます。

- **ページ表示画面**
  [実行]をタッチすると、表示しているページの前に追加保存されます。
  [最後に追加]をタッチすると、開いているフォルダーの最後のページとして追加保存されます。

本体内蔵のスキャナー、またはハンディ・スキャナーのどちらでスキャンするかを選ぶためのメッセージが表示されます。

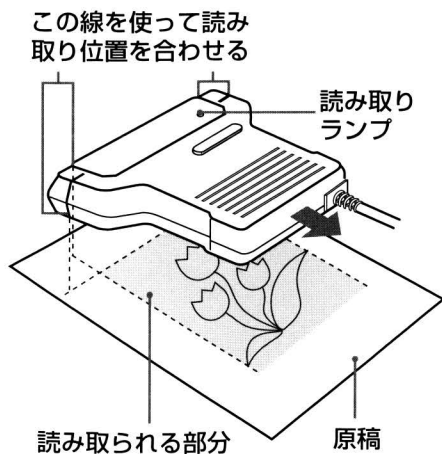
## 6 [ハンディスキャナー]をタッチする。

スキャンモード選択メニューが表示されます。

## 7 希望のスキャンモード(読み取り濃度、原稿の向き)を設定する。

1 読み取り濃度を調節する。
　ハンディ・スキャナーの濃淡調整つまみを回して、濃さを調節します。

2 読み取りモードを選ぶ。
　ハンディ・スキャナーのモード切り換えつまみを、希望の位置(1〜4)に合わせます。
　　1：文字の原稿(文字モード)
　　2〜4：写真や絵の原稿*(写真モード)
　　* 読み取る原稿の状態によって、適当な位置に切り換えてください。

3 原稿の向きを選ぶ。
　画面上で、次のいずれかをタッチします。
　[縦原稿]：原稿が縦に長いとき
　[横原稿]：原稿が横に長いとき

## 8 ハンディ・スキャナーの読み取り位置確認窓をのぞいて、原稿の読み取り位置を合わせる。

## 9 ハンディ・スキャナーの読み取りボタンを押しながら、読み取りたい部分をなぞる。

読み取りランプが点灯し、原稿を読み取ります。
原稿の上をゆっくりと一定の速度で、矢印の方向(左図参照)に動かしてください。

次のページへつづく →

**スキャンし直したいときは**
手順10で、[やり直し]をタッチします。
いま読み取った(画面に表示されている)原稿は取り消されます。
もう1度、手順7からスキャンし直してください。

**スキャンモードを変更して、スキャンし直したいときは**
手順10で、[モード設定]をタッチします。
もう1度、手順7からやり直してください。

**次に読み取る原稿を、新しい別のフォルダーに保存したいときは**
[新規フォルダー]をタッチします。
手順5から繰り返します。

**10 読み取りたい部分をなぞり終わったら、ハンディ・スキャナーの読み取りボタンを離す。**
読み取りランプが消え、読み取りが終了します。
読み取った原稿と、読み取ったときのスキャンモードが画面に表示されます。

**11 他に読み取りたい原稿があるときは、手順7～10を繰り返す。**

**12 全ての原稿を読み取ったら、[スキャン終了]をタッチする。**
もとの(手順3で選んだ)画面に戻ります。

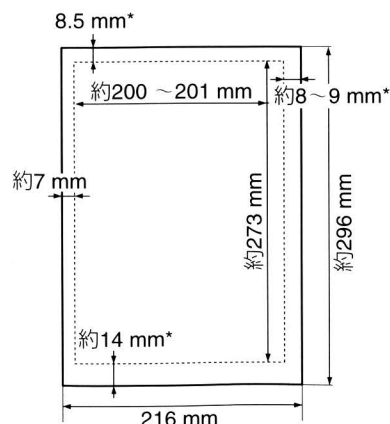
# 書類を印刷する

すでにプリンターをお持ちの方は、本機をお買い上げいただいた販売店にご相談ください。

**ご注意**
- 必ずPDF-5の本体とプリンターの電源を切ってから、ケーブルを接続してください。
- ケーブルをつなぐ前に、接続先の形状とコネクターの形状が合っているか確認してください。
- つないだケーブルに足をひっかけたりしないよう、ご注意ください。

**ケーブルをつなぐときは**
プリンター・ケーブルPDK-1とプリンターの取扱説明書も併せてご覧ください。

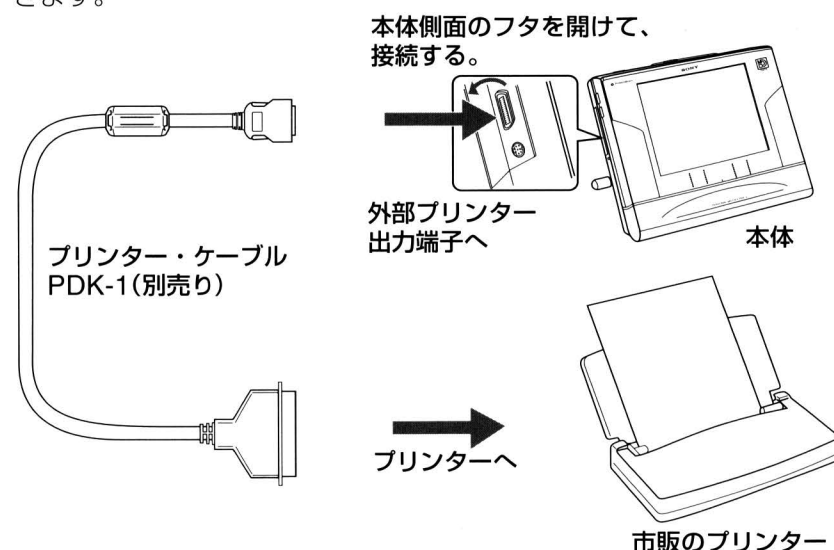
**各機器の電源を入れるときは**
通常は、まずPDF-5の本体、それからプリンター、という順で電源を入れるようにしてください。
ただし、プリンターの種類によって、この順で電源を入れると正しく動作しないものがあります。このようなときは、電源を入れる順序を逆にすると正しく動作することがあります。

**印字領域：点線で囲まれた部分**

* プリンターの機種によって異なります。

## 接続できるプリンターについて

市販のセントロニクスI/Fプリンターのうち、ESC/P24-J84対応で、360 dpiの解像度で印字できるプリンターと接続できます。
ただし、接続には別売りのプリンター・ケーブルPDK-1が必要です。

## プリンターをつなぐ

プリンター・ケーブルPDK-1(別売り)で、本体とプリンターをつなぎます。

## プリンターの印字領域について

プリンターによる制約のため、保存されているデータの印字領域は、画面に表示されている部分よりも、少なくなります。

また、原稿サイズよりも約1.6%大きくプリントされます。
プリントされた大きさは、横約204ミリ x 縦約278ミリになります。

# →書類を印刷する

**ご注意**

- 本機はプリンターの給紙位置が8.5ミリに設定されている(通常の工場出荷時)と想定して印刷します。
  プリンターの給紙位置が8.5ミリと異なる場合、印刷開始位置がずれたり、印刷が2ページにまたがったりすることがあります。
  プリンターの給紙位置の設定は、なるべく8.5ミリにしておいてください。

## 印刷する

ディスクに保存してある書類は、読み取った原稿がどのサイズでも、A4サイズ(タテ約296ミリ、ヨコ約210 ミリ)の用紙に印刷されます。A4の用紙以外には印刷できません。
フォルダーごと印刷したいときは、フォルダー一覧画面で操作します。
特定のページだけ印刷したいときは、ページ一覧またはページ表示画面で操作します。

**1** **操作を行う画面(フォルダー一覧、ページ一覧またはページ表示画面)を開く。**

**2** **をタッチして、ツールメニューを開く。**

**3** **印刷 をタッチする。**

**4** **(フォルダー一覧またはページ一覧画面から操作を始めたときのみ)印刷したいフォルダーまたはページをタッチする。**
ページ表示画面から操作を始めたときは、手順5に進みます。

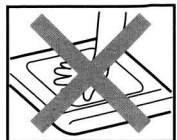
**5** **[実行]をタッチする。**
印刷が始まります。

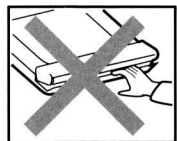
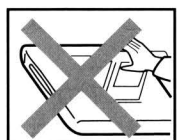
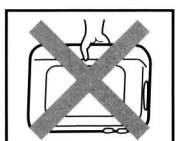
**途中で印刷をやめたいときは**
[中止]をタッチしてください。
もとの(手順1で選んだ)画面に戻ります。

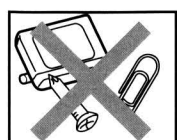
**ご注意**

- 「ピピピッ」という音がして、「プリントエラーが起きました。プリンターの設定をもう一度確認してください。」というメッセージが表示されたときは、印刷できません。
  印刷できる状態にしてから、[確認]をタッチして、手順1からやり直してください。
- プリンターを接続するときは、いったん電源を切ってから、接続してください。

# 使用上のご注意

## 本体の取り扱いについて

本体に手をついたり、ひじをついたりして、力を加えないでください。本体の液晶画面はガラスでできています。手で押さえたり、本などの重いものを載せたりして力を加えると、ガラスが割れてしまいます。

衝撃を加えたり、落としたりしないでください。

スキャナーカバーを閉じるときは、指をはさまないようにご注意ください。

持ち運ぶときに、スタンドを持って持ち運ばないでください。

持ち運ぶときに、スキャナーカバーを持って持ち運ばないでください。

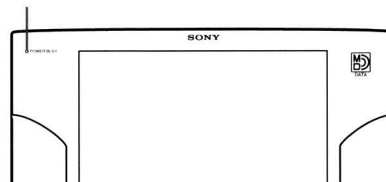
分解や改造はしないでください。

クリップなどの金属物を本体の中に入れないでください。

## 内蔵の電池について

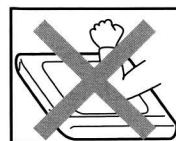
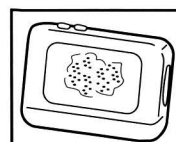
本体には、ACパワーアダプターを接続していないときに、時計とシステム設定の内容を記憶しておくため、電池を内蔵しています。
電池の寿命は通常のご使用で約9年です。電池が消耗してくると、ACパワーアダプターを取り外した後、ACパワーアダプターを接続して電源を入れるたびに、「最初に現在の時刻を設定してください。」というメッセージが表示されます。この場合は、お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口に電池交換を依頼してください（有料）。

## 電源について

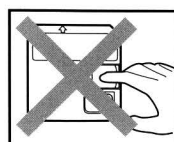
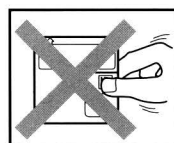
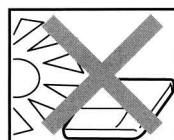
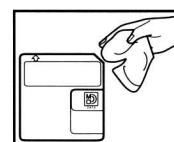
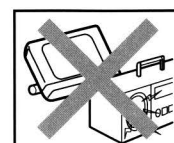
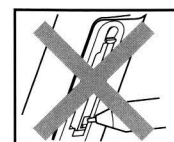
- 本体のPOWER ON/OFFスイッチを使わずに、ACパワーアダプターのプラグを抜いて電源を切らないでください。データを壊すおそれがあります。
- POWER/BUSYランプがオレンジ色に点滅しているときは、ディスクにデータを書き込んだり、ディスクのデータを読み込んだりしています。このとき、電源を切ったり、ACパワーアダプターのプラグを抜いたり、本体をゆらしたり、本体に振動を与えたりしないでください。データを壊すおそれがあります。

POWER/BUSYランプ

# →使用上のご注意

## 液晶画面について

液晶画面は濡れたものでふかないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。

液晶画面に物を載せたり、物を落としたりしないでください。また、手や肘をついて体重をかけないでください。

冬期の戸外など寒冷な場所から室内へ持ち込むと、液晶画面に結露が生じることがあります。結露が生じたら、水滴をよくふき取ってからご使用ください。水滴をふき取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。
液晶画面が冷えているときは、水滴をふき取っても、また結露が生じてしまいます。液晶画面が室温に暖まるまでお待ちください。

## ディスクの取り扱いについて

MDデータディスク自体はカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。ただし、カートリッジのよごれやそりなどが誤動作の原因になることもありますので、次のことにご注意ください。

MDデータディスクに直接触れないでください。

シャッターを手で開けないでください。無理に開けるとこわれます。

直射日光が当たるところなど温度の高いところや湿度の高いところには置かないでください。
また、砂浜など、ディスクに砂が入る可能性のあるところには放置しないでください。

カートリッジ表面についたほこりやゴミを、乾いた布でふき取って、定期的にお手入れをしてください。

本機は高周波の信号を吸うため、ラジオやテレビ、オーディオチューナーなどに雑音が入ることがあります。この場合は、距離を少し離してご使用ください。

本体のディスク挿入口にディスクを入れた状態で、誤消去防止つまみをずらさないでください。データが壊れるおそれがあります。

# お手入れについて

## 本体

乾いた布で軽くふいて、本体についたゴミやほこりを取り除いてください。

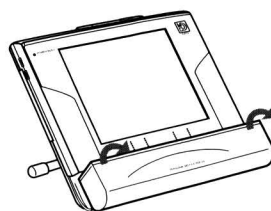
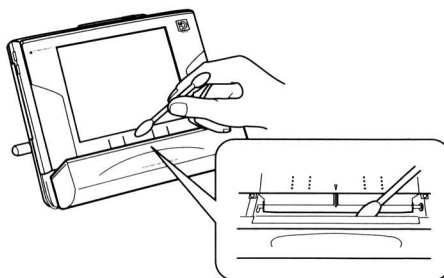
**ご注意**
アルコールやシンナーなど揮発性のものや化学ぞうきんを使用しないでください。変色や変質することがあります。

## 液晶画面

液晶画面は、乾いたやわらかい布で軽くふいてください。汚れてきたと思ったら、こまめにふくように心がけてください。

**ご注意**
- 濡れたもので画面をふかないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- アルコールやシンナーなど揮発性のものや化学ぞうきんを使用しないでください。変色や変質することがあります。

## スキャナー部

スキャナーのセンサーにゴミやほこりが付着すると、原稿をきれいに読み取れないときがあります。
そのようなときは、次のようにして掃除してください。
1 本体の電源を切ります。
2 SCANNER OPENつまみを矢印の方向に動かして、スキャナーカバーを開けます。
3 スキャナーカバーの上側を手前に引いて、もう1段階開けます。

4 センサーに付着した汚れを、綿棒などでふき取ります。

**ご注意**
- ローラーは、アルコールやシンナーなどの揮発性のものでふかないでください。
- ふくときは、センサーやローラーを傷つけないようにご注意ください。

# 故障とお考えになる前に

修理にお出しになる前に、もう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

**画面が真っ黒だったり、薄くて見えなかったりする。**

→ コントラスト調節ダイヤルと明るさ調節ダイヤルで調節してください。
液晶画面の表示濃度は、気温によって変化しますので、低い気温の場所でお使いになるときなど、その都度調節してください。

**操作ペンで書く位置と認識する位置がずれる。**

→ 周囲温度が高温、低温の場合、操作ペンで指示する位置とパーソナルMDファイルがそれを認識する位置がずれることがあります。
「ペン位置を補正するときは」(75ページ)をご覧になって、視差の補正をしてください。

**操作ペンで入力しづらい。**

→ 操作ペンの先がすりへっていませんか。
付属のペン先交換ツールを使って、操作ペンのペン先を交換してください。

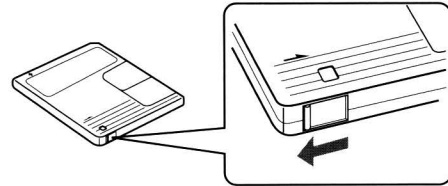
**操作ペンの入力を受け付けなくなった。**

→ 視差が大きくなっていませんか。
視差が大きくなると操作ペンでタッチした位置とパーソナルMDファイルが感じる位置が大きくずれてしまい、選択可能なボタンを押しても反応しないことがあります。
画面のあちこちを操作ペンで押してみてください。操作ペンを置いた位置と違う位置にあるボタンが反応したら、視差が大きくなっています。「ペン位置を補正するときは」(75ページ)をご覧になって、視差の補正をしてください。

→ 長時間操作ペンのペン先を押し続けると、操作ペンで正しく操作できなくなることがあります。
このようなときは、ペン先交換ツールを使って、ペン先を1度抜き、再び差し込んでください。

→ 操作ペンの入力を受け付けないときは、リセットスイッチ(11ページ)を押してください。
POWER/BUSYランプがオレンジ色に点滅している状態でリセットスイッチを押すと、記入した内容が壊れるおそれがあります。リセットスイッチを押す前に、POWER/BUSYボタンがオレンジ色に点滅していないことを確認してください。

**MDデータディスクを入れると「誤消去防止つまみがスライドされています。このままでの状態ではディスクに書き込む作業は行えません。」というメッセージが表示される。**

→ MDデータディスクの誤消去防止つまみが、ディスクを保護する位置(穴が開いた状態)になっていませんか。
ディスクに書き込みたいときは、[イジェクト]をタッチし、そのディスクを取り出してから、図のように誤消去防止つまみをずらして穴を閉じた状態にしてください。

穴を閉じた状態にしたら、ディスクを入れて操作を始めます。

**ご注意**

- 誤消去防止状態を解除せずにディスクを入れて操作を進めると、そのディスクに記録されているデータを変更する機能のボタンは、薄い表示になり使えません。
- 本体のディスク挿入口にディスクを入れた状態で、誤消去防止つまみをずらさないでください。

**本体内蔵のスキャナーで読み取りができない。**

→ スキャナーカバーの上側が開いていませんか。
スキャナーカバーをもう一段階閉じてください。

**読み取った原稿に縦じまが入っている。**

➔ センサーが汚れていませんか。
「お手入れについて」(73ページ)をご覧になって、スキャナーを掃除してください。

**フォルダーを開くことができない。**

➔ フォルダーがロックされていませんか。
フォルダーのロックをやめるか、ディスクの暗証番号を確認してからフォルダーを開きます。詳しくは、「ロックが働いているフォルダーを見る」(60ページ)をご覧ください。

**ディスクが取り出せない。**

➔ イジェクトボタンを押してください。

➔ イジェクトボタンを押しても取り出せないときは、「イジェクトボタンを押してもディスクが取り出せないときは」(76ページ)をご覧ください。

**本機がディスクを読み込めない。**

➔ 音楽用MDディスクを入れていませんか。
音楽用MDディスクを入れると、「ディスクの種類が違うため対応できません。」というメッセージが表示されます。[イジェクト]をタッチしてディスクを取り出してください。

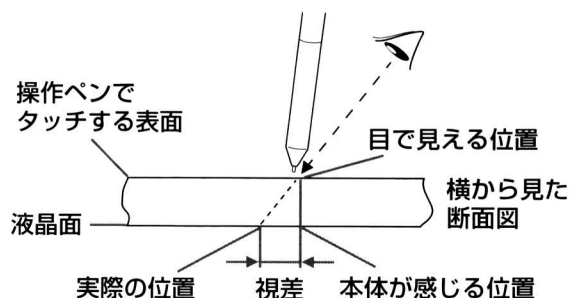
➔ ファイリングディスクとして初期化されていますか。
ディスクの初期化を行ってください。詳しくは、「初期化：始めて使うディスクを初期化する」(21ページ)をご覧ください。

➔ ファイリングディスクとして初期化されていても、ディスクに異常がある場合があります。本機のディスク修復機能(クリニック)を使うと、ディスクを修復できることがあります。
異常のあるディスクを入れたとき、クリニックを行ってくださいというメッセージが表示されます。
クリニックについて、詳しくは「ディスクを修復したいときは(クリニック)」(76ページ)をご覧ください。

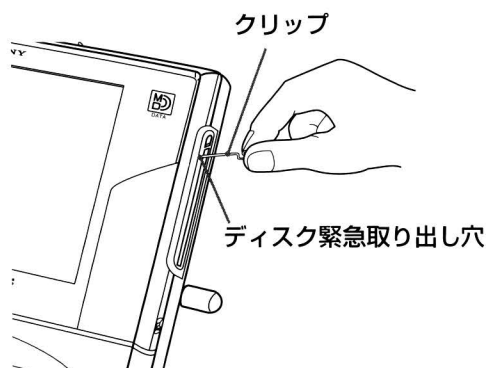
## ペン位置を補正するときは

1 初期画面で[システム設定]をタッチする。
システム設定画面が表示されます。
2 [ペン位置補正]をタッチする。
ペン位置補正画面が表示されます。
3 操作するときの姿勢で、中央の[+]をタッチする。
ペン位置が補正されシステム設定画面に戻ります。
4 [設定終了]をタッチします。

**[+]をペンで押すとどうなるの？**

操作ペンで画面をタッチしたときに目で見える位置と、本体が感じる位置には若干のズレがあります。そのズレを「視差」といいます。

この操作は視差を少なくするためのもので、「視差補正」といいます。
[+]から離れた位置を押すと、視差が大きくなり、本体は操作ペンで押した正しい位置を判断できなくなってしまいます。

## イジェクトボタンを押しても ディスクが取り出せないときは

伸ばしたクリップの先などを、ディスク緊急取り出し穴にゆっくりと差し込んで、ディスクを取り出してください。無理に押し込まないようご注意ください。

## ディスクを修復したいときは（クリニック）

ディスクに異常があると、本機がディスクを読み込めません。クリニック機能を使うとディスクを修復し、読み込みを可能にできることがあります。
次のような場合に、クリニックを行います。

- ディスクを入れたときに、ディスクが別システムで変更された可能性があるというメッセージが表示された場合。
- ディスクを入れたときに、ディスクに異常があるというメッセージが表示された場合。

1 初期画面を表示して、[ディスク設定]をタッチする。
ディスク設定画面が表示されます。
2 修復したいディスクを入れる。
ディスク設定メニューが表示されます。ディスクに異常があると、メニューには[初期化]と[クリニック]のみ表示されます。
3 [クリニック]をタッチする。
クリニックメニューが表示されます。
4 [チェック]、[応急手当]、[治療]の中から希望の項目をタッチする。
**ディスクの管理情報の整合性が正しいかどうかチェックしたいとき：**
[チェック]をタッチしてください。
**ディスクの管理情報の不整合な要素を削りたいとき：**
[応急手当]をタッチしてください。
**ディスクの管理情報を修復し、データを復活させたいとき：**
[治療]をタッチしてください。
5 [実行]をタッチする。
実行中を伝える画面が表示されます。

**ご注意**
[応急手当]や[治療]が完了するまで時間がかかります。POWER/BUSYランプがオレンジ色に点滅している間はそのままお待ちください。

実行が完了すると、結果をメッセージで表示します。
手順4で
**[チェック]をタッチした場合**：
そのディスクに異常があったかどうかの結果をメッセージで表示します。
**[応急手当]をタッチした場合**：
そのディスクに応急手当をした後の結果をメッセージで表示します。
**[治療]をタッチした場合**：
管理情報の修復が成功したかどうかの結果をメッセージで表示します。
6 [クリニック]をタッチする。
クリニックメニューに戻ります。
7 手順5で表示された、結果のメッセージにしたがって、手順4から操作を繰り返す。
8 全ての作業が終わったら、[終了]をタッチする。
ディスク設定メニューに戻ります。
9 [イジェクト]をタッチする。
ディスクが取り出されます。

**治療による管理情報の修復について**
ディスクの内部データに異常があるときは、なるべく他の作業を行わないで、治療を行うことをおすすめします。他の作業を行った後では、修復できなくなることがあります。

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項に記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

## アフターサービス

### 調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

### それでも具合が悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

### 保証期間後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

### 部品の保有期間について

当社では、パーソナルMDファイルの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名： PDF-5
- 故障の状態：できるだけくわしく
- お買い上げ年月日：

**本体に内蔵のスキャナーのローラーは消耗品です。**

内蔵スキャナーのローラーは消耗品です。スキャナーの機能が著しく低下したときは、ローラーが消耗していることがありますので、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。ローラーの交換は有料でさせていただきます。

# 主な仕様

## 液晶画面

**形式**
9.5インチSTNモノクロ液晶ディスプレイ

**解像度**
640 x 480ドット

**階調表示**
8階調

## 記録

**記録装置**
MD DATA(1ドライブ内蔵)

**記録媒体**
記録用MDデータディスク

**記録容量(記録用MDデータ1枚)**
140 MByte
(A4サイズ原稿で約1000枚)

**最大ボックス数**
ディスク1枚につき90ボックス

**最大フォルダー数**
ボックス1個につき100フォルダー

**最大ページ数**
フォルダー1個につき100ページ

## スキャナー部

**スキャナータイプ**
密着型ラインセンサー

**読み取り原稿**
単独紙(連続紙は不可)

**解像度**
主走査(横方向):8画素/mm、
副走査(縦方向):8本/mm

**原稿サイズ**
A4サイズ　(約210 X 296 mm)
はがきサイズ　(約108 X 148 mm)
名刺サイズ　(約69 X 90 mm)

**読み取り範囲**
最大:A4サイズ
最小:名刺サイズ

**読み取り原稿の紙厚**
A4サイズ:約0.1mm
はがきサイズ:約0.1～0.4 mm
名刺サイズ:約0.1～0.4 mm

**読み取りモード**
文字/写真(中間調誤差拡散)、
濃度設定

**読み取り速度**
約4秒/枚(A4サイズ)

## その他

**入力装置**
タッチパネル(電磁授受方式、専用ペン使用)

**外部インターフェース**
プリンター用　セントロニクス
　　　　　　　パラレル
外部スキャナー　MIN DIN 8P

**スタンドの角度調節範囲**
17°～54°の8段階

**環境条件**
動作時 周囲温度:5～35 °C

**電源**
ACパワーアダプター
AC-PDF5:　出力 DC12 V/1.65 A
　　　　　入力 AC100 V、50/60 Hz

**消費電力**
最大 22 W

**最大外形寸法(スタンド収納時)**
308 X 255 X 56 mm (幅 X 高 X 奥行 mm)

**質量**
約 2600 g

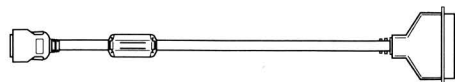
## 付属品

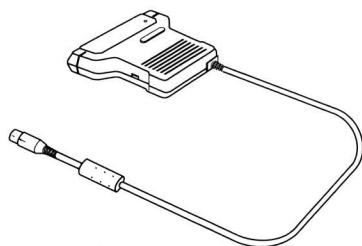
ACパワーアダプター AC-PDF5(1)
操作ペン(1)
交換用ペン先(5)
ペン先用交換ツール(1)
原稿ホルダー(1)
MDデータディスク MMD-140(1)
ディスクラベル(1)
取扱説明書(1)
保証書(1)
ソニーご相談窓口のご案内(1)

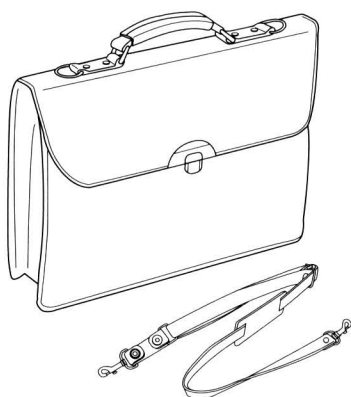
仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

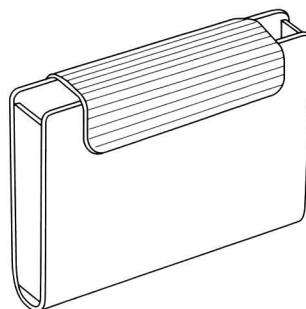
## 別売りアクセサリーのご案内

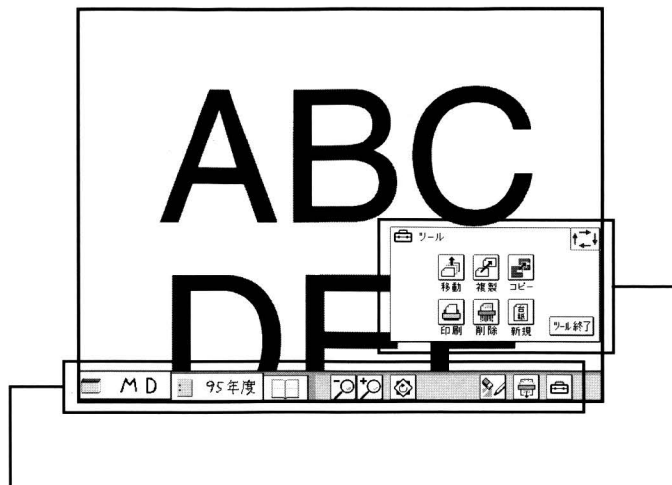
### プリンター・ケーブル(PDK-1)

本体と別売りのプリンターを接続します。

### ハンディ・スキャナー(PDN-1)

本体に接続し、本体内蔵のスキャナーでは読み取ることのできない大きな原稿や、雑誌などの綴じ込みのある原稿を読み取ります。

### 本体収納バック(PDB-PDF5)

ACパワーアダプターやディスクも一緒に収納できるバックです。
液晶画面の保護やほこりよけになります。

### 本体収納ケース(PDC-PDF5)

簡易ケースです。
液晶画面の保護やほこりよけになります。

# 機能ボタン一覧

各機能ボタンについての詳しい説明は、(　)内のページをご覧ください。

### この領域に表示される機能ボタン

 ツールボックス(39)

 回転(36)

 スキャン(30、46、66)

縮小(36)

 検索(54)

 拡大(36)

 編集(49、51)

### 編集モードのときだけ表示される機能ボタン

 ペン(51)

 消しゴム(51)

 直線(51)

 クリップ(49)

 矩形枠(51)

 ペースト(49、50)

 黒塗りつぶし(51)

 UNDO(49、50、51)

 白塗りつぶし(51)

スクロール(49、50、51)

### ツールメニューに表示される機能ボタン

各操作画面によって表示される機能ボタンは異なります。

合成(42)

新規(52)

移動(43)

設定(53、57)

複製(44)

しおり(56)

共有(45)

コピー(62)

削除(47)

追加(63)

タイトル(48)

整頓(64)

印刷(70)

ソニー株式会社　〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

●東京(03)5448-3311●名古屋(052)232-2611●大阪(06)539-5111

Printed in Japan